

摂南大学大学院 看護学研究科
学生の確保の見通し等を記載した書類
目 次

(1) 新設組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
①新設組織の概要	
②新設組織の特色	
(2) 人材需要の社会的な動向等・・・・・・・・	P 2
①新設組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析	
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析	
③新設組織の主な学生募集地域	
④既設組織の定員充足の状況	
(3) 学生確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	
ア 既設組織における取組とその目標	
イ 新設組織における取組とその目標	
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，新設組織での入学者の見込み数	
②競合校の状況分析	
ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性	
イ 競合校の入学志願動向等	
ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等	
エ 学生納付金等の金額設定の理由	
③先行事例分析	
④学生確保に関するアンケート調査	
⑤人材需要に関するアンケート調査等	
(4) 新設組織の定員設定の理由・・・・・・・・	P 14

(1) 新設組織の概要

①新設組織の概要 (名称, 入学定員 (編入学定員), 収容定員, 所在地)

研究科名称	専攻名称	課程	入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
看護学研究科	看護学専攻	博士前期 ^{※1}	4人 ^{※2}	8人 ^{※2}	大阪府枚方市長尾峠町 45番1号
		博士後期	2人	6人	

※1: 既設の修士課程を課程変更し博士前期課程とする。

※2: 現行の入学定員6人、収容定員12人から変更予定。

②新設組織の特色

(博士前期課程)

医療・看護・保健の課題への探究心や課題を解決するための幅広い知識や技術を基盤とし、広い視野と高い倫理観をもち、地域社会で生活する人々を支援する看護実践者および研究能力を基盤とした看護教育者を育成する。博士後期課程の開設に伴い、既設の修士課程は博士前期課程に課程変更を行うとともに、入学定員6人を4人に、収容定員12人を8人に変更する。

(博士後期課程)

看護学の高度で深い専門知識および関連する多様な分野の知見を養い、地域における様々な課題を解決すべく、現場に還元する研究を推進できる研究者、および自立的な研究遂行力を持ち次世代の医療や看護にかかわる専門職業人を育成する教育者、地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉機関・施設の管理者を養成する。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

本研究科のうち特に博士後期課程が養成する看護研究者、看護系大学教員の人材需要について概観する。本課程の修了者の主たる就職先と想定される看護系大学は、令和5(2023)年度において283校、入学定員26,023人で平成26(2014)年度からの10年間で57校、入学定員で6,569人の増加となっている(出典「令和5年度指定学校概況報告(文部科学省高等教育局医学教育課)」)。このような状況において、看護系大学の教育研究の質を保証する看護教員は、質、量ともに不足している状態が長く続いており、多くの大学に看護教員を供給することが切望されている。

厚生労働省の「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」(2023年10月改訂)【資料1】においても、「大学教員の養成においては、看護系大学院の整備が進み、修士・博士取得者が増加し、大学教員の質担保につながっている。一方、看護系大学及び養成所の増加等により、看護教員は引き続き不足しており、看護教員の確保方策の検討が必要である。(教員養成の現状)」、「看護師等学校養成所の教員需要に対応していくとともに、看護教育の内容の充実を図り、養成される看護師等の資質を高めていくためには、理論やエビデンスと実践を結びつけて指導ができる資質の高い看護教員の確保を図ることが重要である。(看護教員等養成の在り方)」、「今後も、更なる高度化・多様化が見込まれる医療に対する国民のニーズに応え、良質な

看護等を国民に提供するため、看護系大学の充実の推進とともに、新たな看護教育の手法の研究、看護技術の開発、看護実践の評価など、看護の質の向上に係るエビデンスの蓄積を担う研究者や教育者の養成を図ることも必要であり、看護系大学院における教育の質的な充実に努めることが必要である。(看護系大学・大学院の充実)」、「効果的かつ効率的な質の高い看護を実現するための研究を行う研究者の育成や広く看護現場で活用される看護ケアの評価、在宅における看護技術等看護全般にわたる研究が求められており(調査研究の推進)」と記されており(下線は申請者にて追記)、質の高い看護師を養成するための基盤となる看護教育者、看護研究者を養成するための看護系大学院の整備と充実が社会的に求められている。

博士人材は、養成人数(入学定員)が少ない上に、修了に多くの年数もかかることから、急速かつ大規模な人材供給が難しく、長期的な視野での人材養成が必要である。本研究科では、博士課程までを修めた看護教員、看護研究者を養成することで、我が国における看護教員、看護研究者の人材需要の社会要請に応えるものである。

【資料1】看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

本研究科の入学者の長期的な動向を把握するため、全国及び本学が主な学生募集地域とする大阪府における、開設から10年間(2026年度～2035年度)の22歳人口(M1)及び24歳人口(D1)の推計を、学校基本調査の各学年在籍数から推測した表は以下の通りである。

22歳人口(M1)では、全国では85,035人(2026年度比92.4%)、大阪府では6,716人(同比91.3%)の減少が予測されている。24歳人口(D1)では、全国では99,775人(2026年度比91.5%)、大阪府では9,113人(同比88.9%)の減少が予測されており、10年間で約10%の入学年度の人口減は確実である。今回の課程変更は、今後の人口の減少により、博士後期課程の入学資格者である看護系大学入学者、看護系修士課程入学者が減少することも、本課程の開設の前提条件としている。博士前期課程については、本学看護学部の入学者の充足を大前提とする。博士後期課程については、本学看護学部だけでなく幅広い全ての年齢層で受け入れることを想定しており、22歳人口、24歳人口の直接的な影響は受けないと考えている。

開設後10年間の22歳(M1)人口推計(全国及び大阪府)

	2026年度(開設時) 22歳人口	2035年度(10年次) 22歳人口	減少幅	2026年を100% とした割合
全国	1,121,285人	1,036,250人	▲85,035人	92.4%
大阪府	77,446人	70,730人	▲6,716人	91.3%

開設後10年間の24歳(D1)人口推計(全国及び大阪府)

	2026年度(開設時) 24歳人口	2035年度(10年次) 24歳人口	減少幅	2026年を100% とした割合
全国	1,167,348人	1,067,573人	▲99,775人	91.5%
大阪府	81,797人	72,684人	▲9,113人	88.9%

(出典) 学校基本調査

※学校基本調査の当該学年の義務教育の学校(中学校、中等教育学校前期課程、小学校、義務教育学校)の在校生徒・児童数、卒業生徒・児童数より算出。

私学事業団の「私立大学・短期大学等入学志願動向」(令和6年度)によれば、保健系の修士課程、博士前期課程の収容定員充足率は86.14%(令和6年度)、博士後期課程の充足率は83.17%(同年度)となっている(別紙1)。本研究科においては定員充足と適切な定員管理に努める。

【添付データ】

- ・新設組織が置かれる都道府県への入学状況(別紙1)

③新設組織の主な学生募集地域

本学及び本大学院は、立地する大阪府及び近畿地区から過半数の学生を受け入れていることから、本研究科においても大阪府及び近畿地区が主な学生募集地域になると考えている。特に修士課程を課程変更する博士前期課程は、本学の看護学部の卒業生の入学者が多いので、看護学部と同じく、大阪府を中心とした近畿地区が学生募集地域となる。博士後期課程は、大阪府を中心とする近畿地区を学生募集地域と想定しているが、後期課程という特性上、全国からの志願者・入学者、遠距離の通学も想定している。

大阪府の看護系大学院博士後期課程の充足状況は、【資料2】に示した。看護系博士後期課程は6校(うち私立は4校)設置されており、入学定員の合計は23人であり、収容定員69人に対する在籍学生数は85人で収容定員充足率は1.23倍であった(入学定員以降は保健学専攻の大阪大学を除いた数字)。本学の博士後期課程の地域的な入学需要は十分に存在していると考えられる。

【資料2】大阪府の看護系大学院博士後期課程の充足状況

④既設組織の定員充足の状況

(博士前期課程)

既設の本学大学院看護学研究科修士課程の入学者数の推移は以下の通りである。令和4(2022)年以降やや低調な入学者数となっていることもあり、博士後期課程の開設に合わせ入学定員を6人から4人に減らし、定員設定の適正化を図る。

表 本学看護学研究科修士課程(入学定員6人)の入学者数の推移

	R6(2024)	R5(2023)	R4(2022)	R3(2021)	R2(2020)
入学者数	0	1	2	4	6
入学定員充足率	0.0%	16.7%	33.3%	66.7%	100.0%

本研究科修士課程(入学定員6人、令和8年度より4人に減員予定)の入学者数は、過去5年において減少傾向にあり、充足したのは令和2年度のみとなっている。直近年度において入学者が減少したのは、コロナ禍以降、学外からの志願者の獲得に向けた募集広報活動を十分に実施で

きなかった点が主因として挙げられる。本学看護学部卒業生は従来から就職志向が強く、看護学部から本学修士課程にそのまま進学する者は非常に少ない実績となっている。

一方で、令和7年度は、入学定員6人に対して7人の入学者（入学定員充足率1.17）があり定員を充足した。その内訳は本学看護学部の卒業生の看護職が5人、学外の看護職が2人であった。

平成24（2012）年度に開設された本学看護学部は、1期生の卒業・就職から9年が経過し、病院等での臨床勤務を経て、一定数が本学を主とした大学院修士課程への進学を希望し入学している。

下記の表の通り、本学看護学部の卒業生合計10人が本学大学院看護学研究科修士課程に入学しており、令和6（2024）年度までは毎年0人～2人であった入学者が、令和7（2025）年度は5人に増加している。その5人の学部卒業年度は、平成27（2015）年度（学部1期生）が2人、平成28（2016）年度（2期生）が2人、令和4（2022）年度（8期生）が1人となっており、病院等での勤務を経て大学院に入学している。それ以外に、判明している限りで3人の学部卒業生が他大学の大学院看護学研究科修士課程に進学している。特に看護学部1期生、2期生の大学院修士課程への入学が令和7（2025）年度には増加した。

今後は、学部学生に対しては、就職後一定期間を経た後の大学院進学のカリヤパスの説明を行い、本学博士前期課程（現修士課程）での受け入れ体制を整備する。

表 摂南大学看護学部卒業生の摂南大学大学院看護学研究科修士課程への入学年度及び入学者数

摂南大学大学院看護学研究科 修士課程への入学年度	摂南大学大学院看護学研究科修士課程への 入学者数（看護学部卒業年度別）	入学者数合計
2016年度（開設年度）		
2017年度	1人（2016年度卒業）	1人
2018年度		
2019年度		
2020年度	1人（2015年度卒業）	1人
2021年度	1人（2015年度卒業） 1人（2017年度卒業）	2人
2022年度		
2023年度	1人（2021年度卒業）	1人
2024年度		
2025年度	2人（2015年度卒業） 2人（2016年度卒業） 1人（2022年度卒業）	5人
合計		10人

※本表の人数は摂南大学看護学部の卒業生のみ

本学博士前期課程では、入学定員4人のうち、3人（75％）程度を本学看護学部の卒業生の看護職、1人（25％）程度を学外の看護職から確保する計画である。

その上で、本学博士前期課程の修了生（毎年4人程度を想定）のうち、毎年1人（25％）前後

が博士後期課程への進学を希望すると想定している。本課程の入学定員2人のうち残りの1人は、本学博士前期課程の修了生以外（本学教員・助手、学外）からの入学者を想定している。

以上の計画により、本学看護学研究科博士前期課程（現修士課程）の入学定員を充足することで、博士前期課程修了者の博士後期課程の進学につなげ、本課程の定員を充足する計画である。

（看護学部の充足状況）

修士課程の基礎となる学部である看護学部（入学定員100人）の充足状況は【別紙2】で示した。看護学部は、年度による変動はあるものの、過去5年間において安定して志願者、入学者を集めており（5年間の平均入学定員充足率=1.04）、定員を充足している。

（博士後期課程）

既設の本学大学院研究科博士後期課程の収容定員充足率は以下の状況となっている。博士後期課程の3研究科のうち農学研究科以外は収容定員を充足していないものの、毎年継続的に博士後期課程への入学者を受け入れており、少数の研究職を養成する博士後期課程としては健全な運営を実施していると考えている。本課程の入学定員は2人（収容定員6人）と最小の設定であることから、定員の充足は可能と考えている。

摂南大学大学院 既設の博士後期課程の収容定員充足率（令和6年5月1日現在）

研究科	収容定員	在学生数	収容定員充足率
理工学研究科（創生工学・生命科学） 博士後期課程	12	4	0.33
薬学研究科 博士課程	16	9	0.56
農学研究科 博士後期課程	3	4	1.33
合計	31	17	0.54

※農学研究科は令和6年開設

【添付データ】

- ・既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）（別紙2）

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

本学大学院では学部と区別せず一体化してオープンキャンパスを行っている。その詳細は（別紙3）に記した。

オープンキャンパス参加者合計（令和6年度入試）は8,863人、うち受験対象者（学部）は5,047人であり、そのうち入学者（学部）は1,130人である（入学率22.4%）。学部の実績であるが、その転換率については大学院においてもある程度は適用できると考えられることから、20%をオープンキャンパスの入学率と設定する。

【添付データ】

- ・既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績（別紙3）

イ 新設組織における取組とその目標

新たに設置する博士後期課程においては、学内からの進学者とともに、学外からの多様な志願者、入学者が見込まれることから、本課程の積極的な広報と周知に努める計画である。具体的には、本学HP及び本学大学案内における課程の説明、外部情報媒体や外部看護系情報サイトへの出稿、志願者が見込まれる病院、看護系大学等への周知を行い、必要な情報の的確な伝達に努める。また博士後期課程の特性上、出願前の指導教員との研究内容の摺り合わせ、出願予定者の研究実績、研究内容の把握と確認は極めて重要であることから、事務局も含めた研究科全体で緻密で丁寧なアドミッションの体制とプロセスの構築に努める。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

上記アで示したように、本学学部のR6年度入学対象者のオープンキャンパス（R5年開催）における入学率（入学者／オープンキャンパス参加者）は22.4%（1,130人）、（R4年開催）における入学率（入学者／オープンキャンパス参加者）は23.0%（922人）であることから、20%をオープンキャンパス（大学院の場合は説明会も含む）からの入学率として設定する。新設する博士課程における具体的な数値目標と志願者等の目標設定は以下の通りである。なお、現時点（令和6年度）において、本博士後期課程が設置された場合、入学を希望する者（修士学位保持者）が10人程度存在していることを確認している。

摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士前期課程の学生確保の目標設定（毎年度）

学生確保の各プロセス	目標数	オープンキャンパス参加者からの転換率
オープンキャンパス（説明会）参加者	20人	100%
志願者数	16人	80%
合格者数	8人	40%
入学者数（入学定員4人）	4人	20%

※博士前期課程は、摂南大学看護学部卒業生及び学外の看護職等の受け入れを想定している。

摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士後期課程の学生確保の目標設定（毎年度）

学生確保の各プロセス	目標数	オープンキャンパス参加者からの転換率
オープンキャンパス（説明会）参加者	10人	100%
志願者数	8人	80%
合格者数	4人	40%
入学者数（入学定員2人）	2人	20%

※博士後期課程は、摂南大学大学院看護学研究科博士前期課程修了生及び学内・学外の看護職、看護教員等の受け入れを想定している。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性

本博士後期課程では、学校種、定員規模、学問分野、看護学部及び大学院看護学研究科の開設時期、所在地等の類似性から、以下の2校を競合校と設定した。競合校はともに医学部及び附属病院を持つ医科大学であり、その点が本課程との大きな差異であると言える。本学は、医学部と附属病院は設置していないものの、薬学部、理工学部、農学部（管理栄養士課程を含む）、法学部、経済学部等を併設した、多くの分野と研究者を抱えた総合大学であり、様々な他学部、他研究科との連携や共同研究も期待できることから、競合校に対する本課程の強みや優位性もあると考えている。

競合校の一覧と本博士後期課程との比較分析

	競合校	人材養成目的等の教育内容	本課程との比較・ 本課程の優位性
1	大阪医科薬科大学 大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程 (大阪府高槻市)	(教育目的) 博士後期課程は、豊かな学識とグローバルな視点を基盤に看護学の深奥を窮めることができ、国際社会に貢献できる自立した教育研究者を育成することを目的とする。 (教育目標) 以下の能力を持つ教育研究者の養成を目指す。 ①研究者として自立して研究活動を行うために必要な高度の研究能力を培う。 ②知的な素養とグローバルな視点を兼ね備えた高度な研究能力をもち、教育研究者として看護学教育を行うのに必要な教育開発力を育成する。 ③課題探求能力、企画力、管理運営能力を高め、豊かな学識を持った指導能力を育成する。	競合校は医学部、附属病院を併設しており、臨床と一体化した看護師養成、修士での専門看護師等の人材養成には競合校に優位性がある。一方で、研究者を養成する博士後期課程においては、研究指導の環境において、大きな差はなく、研究内容を差別化することで、本課程も十分に競争力があると考えられる。
2	関西医科大学 大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程 (大阪府枚方市)	(カリキュラム・ポリシー) 博士後期課程では、人の健康に関わる多様な自然環境や社会環境等の変化の中で展開されている看護実践における現象を、地域に根差しつつもグローバルな視野の基に分析し、今後、看護が果たすべき方向や課題を見極め、看護実践を革新することができる人材育成を目指したカリキュラムを編成する。 (ディプロマ・ポリシー) ①看護実践に不可欠な科学的・学際的な知識を基に看護実践を創造するための自立した研究活動、および次世代の看護を見据えた教育力をもつことができる。 ②国内外の専門家と協働して、人々の健康と生活にかかわる社会システムの構築および変革を行うことができる。 ③看護が社会に果たすべき役割を自覚し、専門職としての高い倫理観と責任感を基に看護実践を革新するた	大阪医科薬科大学と同様に、医学部、附属病院を併設している。特に関西医科大学は同一沿線の近隣駅に位置していることから、志願者も大きく重複、競合すると考えられる。本学は、看護学部が先行して設置され看護師養成の実績が長い点、総合大学のメリットや強みを活かすことや、研究内容を差別化することで、十分に競合できると考えている。

	<p>めの開発を行うことができる。</p> <p>④人々の生活の質（Quality of life : QOL）、社会の発展 および平和に貢献することができる。</p>	
--	--	--

イ 競合校の入学志願動向等

競合校の充足状況（令和6年度）は以下に示した。競合校2校とも、問題なく志願者、入学者を集め収容定員を充足（2.0倍、1.2倍）している。競合校となる本課程も同水準で入学者を確保し、定員を充足する見込みと予想される。なお、競合校以外の大阪府の大学院看護学研究科の充足状況は【資料2】に示した。

【資料2】大阪府の看護系大学院博士後期課程の充足状況

競合校の入学者数、収容定員充足率

	競合校	入学定員	入学者数 (2024年度)	収容定員	在学者数 (2024年度)	収容定員 充足率
1	大阪医科薬科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	3人	6人	9人	18人	2.0
2	関西医科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	5人	1人	15人	18人	1.2

競合校の過去3年の入学志願状況は以下に示した。大阪医科薬科大学は過去3年全て入学定員を充足している。関西医科大学は3カ年全てで入学定員を充足していないが、収容定員は充足しており、修業年限を超えて在籍する学生が多いと思われる。博士後期課程はその性質上、修業年限を超過した過年度生が多くなる傾向にあるため、両校とも十分な学生を受け入れていると考えられる。

競合校の志願状況

	競合校	入学 定員	2022年度			2023年度			2024年度		
			志願者数	入学者数	入学定員 充足率	志願者数	入学者数	入学定員 充足率	志願者数	入学者数	入学定員 充足率
1	大阪医科薬科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	3人	5人	4人	1.3	6人	5人	1.7	6人	6人	2.0
2	関西医科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	5人	12人	3人	0.6	1人	1人	0.2	2人	1人	0.2

ウ 新設組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未充足の場合のみ）

競合校は全て収容定員を充足しているため該当なし。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

新たに設置する博士後期課程の学納金設定について述べる。本博士後期課程及び博士後期課程の競合校に設定した2校の学納金は以下の表の通りである。本課程の学納金の金額水準は、ほぼ国公立大学に近い低い設定となっており、学生の経済的負担を最大限軽減することで、学生確保において大きな利点になると考えている。本課程の学納金設定は、競合校2校よりもやや高い水準になっているものの、近い水準の範囲に収まっており、学納金水準により募集が不利になることはないと考えている。また、競合校2校を含む大阪府の私立大学院看護学研究科博士後期課程の学納金一覧は【資料3】に示したが、それによれば、初年度入学金の平均金額は820,000円、3年間の合計学納金の平均は2,060,000円であった。本研究科の学納金は平均よりやや高い設定となっているが、許容範囲内に収まっていると考えている。

本研究科及び競合校の学納金

	大学名	入学金	授業料等	初年度納付金	修業年限(3年) 合計学納金
本学	摂南大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	220,000	660,000	880,000	2,200,000
競合校	大阪医科薬科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	200,000	580,000	780,000	1,940,000
	関西医科大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程	200,000	600,000	800,000	2,000,000

(単位：円) ※2024年度学納金。出典：各大学HP

【資料3】大阪府の看護系大学院博士後期課程の学納金

③ 先行事例分析

該当なし。

④ 学生確保に関するアンケート調査

(博士前期課程)

既設の修士課程では、本学看護学部の卒業生を主たる入学者として受け入れている。入学定員100人のうち、毎年10人前後が大学院進学を検討し、3人前後が修士課程に入学しているが、年度による変動がある。修士課程を課程変更する博士前期課程では、本学看護学部卒業生(卒業後すぐ進学)、同卒業生(一度病院等に就職し進学する者)、外部の現職看護師等からの3方向から入学者を受け入れる予定であり、入学定員(4人)は充足できる見込みである。

(博士後期課程)

新たに設置する博士後期課程の学生確保の見通しを測定するために、

- (1) 入学意向アンケート調査① (学内・関係者等対象) 【資料4】
- (2) 入学意向アンケート調査② (インターネット調査) 【資料5】

の2種類の調査を実施した。調査と結果の概要はそれぞれ以下の通りである。両調査ともに、看護師資格を持つ修士学位保持者(修士課程に在学中で取得予定含む)のみを調査対象とした。(1)は、本学大学院看護学研究科修士課程の修了生や、直接コンタクトの取れる修士学位保持者の看護教員、現職看護師等を対象とした調査であり、(2)は、インターネット調査のモニターで修士学位と看護師資格を持つ者を対象とした調査である。調査の性質は異なるものの、(1)と(2)はともに信頼性の置ける調査である。調査(1)と調査(2)は時期をずらしており、回答者が重複していないことも確認している。

(1) 入学意向アンケート調査① (学内・関係者等対象) の概要

調査時期	令和6年9～11月
調査対象	①摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程の在学学生及び修了生 ②摂南大学看護学部に関係した修士学位保持者(助手、教員、現職看護師等)
回答件数	33人(修士学位保持者、取得予定者のみ)
調査結果の概要	(大学院博士後期課程への進学意向) ・進学意向: 27人(81.8%) (摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験・入学意志) ・受験意志(第一志望): 4人(12.1%) ・受験意志(第一志望～第三志望以降): 13人(39.4%) ・受験意志かつ入学意志を示した者: 4人(12.1%) (クロス集計) ・「大学院博士後期課程進学希望」かつ「私立大学院を希望」かつ「看護学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」かつ「2026年度(開設年度)入学を希望」を示した者: 2人(6.1%)

上記の調査(1)は、摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程の修了生、摂南大学看護学部に関係する修士学位を保持した看護助手、看護教員、現職看護師等にアンケート依頼をした結果、34人から回収があり、そのうちの修士学位保持者(取得予定含む)である33人(1名は修士学位がないため除外)を対象として集計を行った。これらの対象者は本学や本課程の研究指導教員(就任予定者)と直接的に関係がある集団である。

結果としては、回収のあった33人のうち、4人(12.1%)が受験意志(第一志望)を、4人(12.1%)が受験意志(第一志望～第三志望以降)かつ入学意志を示し、入学定員(2人)を上回る入学意志を得た。クロス集計では、「大学院博士後期課程進学希望」かつ「私立大学院を希望」かつ「看護学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」かつ「2026年度(開設年度)入学を希望」を示した回答者は2人(6.1%)となり、また2年目以降の入学希望者も確認できた。

【資料4】 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程 入学意向アンケート調査①

(2) 入学意向アンケート調査② (インターネット調査) の概要

調査時期	令和6年12月
調査対象	インターネット調査会社のモニターのうち、看護系修士学位保持者(取得予定含む)
回答件数	48人(修士学位保持者、取得予定者のみ)
調査結果の概要	<p>(大学院博士後期課程への進学意向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学意向：24人(50.0%) <p>(摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程への受験・入学意志)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験意志(第一志望)：3人(6.3%) ・受験意志(第一志望～第三志望以降)：18人(37.5%) ・受験意志かつ入学意志を示した者：7人(14.6%) <p>(クロス集計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学院博士後期課程進学希望」かつ「私立大学院を希望」かつ「看護学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」を示した者かつ「2026年度(開設年度)入学を希望」を示した者：2人(4.2%)

上記の調査(2)は、インターネット調査会社のモニターを対象として、看護師資格と修士学位を保持する者48人を抽出し、本課程の受験意志、入学意志を測定した。48人の居住地は、近畿地区が14人、近畿地区以外が34人となっているが、博士後期課程においては遠距離からの入学、通学も可能であるので、調査範囲は全国で設定した。

結果としては、回収のあった48人のうち、3人(6.3%)が受験意志(第一志望)を、7人(14.6%)が受験意志(第一志望～第三志望以降)かつ入学意志を示し、入学定員(2人)を上回る入学意志を得た。クロス集計では、「大学院博士後期課程進学希望」かつ「私立大学院を希望」かつ「看護学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」かつ「2026年度(開設年度)入学を希望」を示した回答者は2人(4.2%)となり、また2年目以降の入学希望者も確認できた。

【資料5】 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程 入学意向アンケート調査②

調査(1)、(2)及び(1)+(2)の合計の受験、入学意志の結果は以下の通りである。調査(1)と(2)の入学意志のクロス集計の結果の合計は、4人(入学定員2人の2.0倍)となった。上記の(1)(2)の2種類のアンケート調査により、博士後期課程においては、修士学位を保持した入学資格を持つ者を、開設年度から継続的に志願者、入学者として確保できる見込みであることが示されている。

調査(1)と(2)の合計では、81人の回収に対して、6重クロス(開設年度である2026年度入学)の入学意志は4人(4.9%)の結果となり、また開設2年目の2027年度以降に入学を希望する者も2人存在している。絶対数としては少ないものの、入学意志(6重クロス後)を示した

回答者の割合は 4.9%と高く、また入学定員 2 名の本課程に対する入学意志としては適正な人数と考えている。本研究科の博士前期課程の修了者も毎年 4 名（入学定員）前後輩出される予定であり、また本学看護学部の教員、助手においても博士学位の取得希望者は継続的に存在することから、開設 2 年目以降の入学者の確保も問題がないと考えている。

入学意向アンケート調査（１）＋（２）の合計

調査種類	回収	受験意志 (第一志望～ 第三志望以 降)	受験意志 (第一志望)	入学意志 (クロス集計 後)	入学意志 (クロス集 計、2026 年度 入学)
①学内・関係者	33	13	4	3	2
	100%	39.4%	12.1%	9.1%	6.1%
②インターネット	48	18	3	3	2
	100%	37.5%	6.3%	6.3%	4.2%
①②合計	81	31	7	6	4
	100%	38.3%	8.6%	7.4%	4.9%

※調査①と調査②に重複回答がないことは確認済み。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

(博士前期課程)

既設の修士課程では、これまでに24人の修了生を輩出している（令和6年度現在）が、24人全てが病院への就職、教員としての就職、大学院進学など、修了後に確実に就職等の実績があり、修了後の採用需要に問題がないことを確認している。

(博士後期課程)

(人材需要アンケート調査)

新たに設置する博士後期課程の人材需要の見通しを測定するため、大学、病院等の事業所向けに「採用意向アンケート調査」【資料6】を実施した。調査の概要と結果の概略は以下の通りである。

採用意向アンケート調査の概要

調査実施時期	令和 6 年 10 月～11 月
調査対象 (送付・依頼先)	本博士後期課程の修了者の採用が見込まれる以下の事業所 (業種) ・看護系大学、看護系短期大学：309 校（全国の全ての国公私立看護系大学、短期大学） ・病院（特定機能病院等）：81 院（近畿地区） (依頼件数) 390 事業所
回収件数	85 件（回収率 21.8%） (内訳)

	看護系大学：59校 看護系短期大学：1校 病院：25院
調査結果	採用意向：25事業所（29.4%） 採用の場合の採用可能人数：35人

390事業所にアンケート調査用紙を送付・依頼し、85事業所から回答を得た採用意向アンケート調査の結果の概要は以下の通りである。

養成する人材（博士後期課程）の社会的ニーズについて、53事業所（62.4%）から「人材ニーズは高い」（26事業所）または「人材ニーズはやや高い」（27事業所）の回答を得た。本研究科博士後期課程修了者の採用意向では、25事業所（29.4%）から「採用したい」の回答を得た。さらに採用意向のあった25事業所から35人の採用可能人数が示された（入学定員2人の17.5倍）。

以上の調査結果により、修了後の人材需要について、看護系大学、病院等の事業所からの強い採用意向が示されている。

【資料6】摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士後期課程 採用意向アンケート調査

（人材需給に関するその他の根拠）

「看護系大学に関する実態調査の年次比較—2018年度～2022年度—」（日本看護系大学協議会）（2022年度において288看護系大学（うち私立大学は195校）が回答）【資料7】によれば、博士後期課程の設置は118校（うち私立大学院は49校）（2022年度）、修了者は310人（論文博士含む）（うち私立大学院は88人）となっており、修了者の就職状況は、68.5%が教育職、19.7%が病院・診療所、3.5%が企業への就職となっており、教育職への非常に強い人材需要が存在することが示されている。同調査によれば、国公立288看護系大学の教員8,879人の学位取得状況（2022年度）は、博士（3,640人 41.0%）、修士（4,756人 53.6%）となっており、看護系大学教員における博士学位取得者は実数、割合ともに増加傾向にあるものの、まだ十分とは言えない状況にある。本研究科の博士後期課程は、博士人材の養成を通じて看護教育、看護研究の人材需要の要請に応えるものである。

（4）新設組織の定員設定の理由

（博士前期課程）

課程変更を行う博士前期課程については、入学定員を6人から2人減らし4人（収容定員8人）とし、定員設定の最適化を図る。また収容定員（8人）に対し十分な研究指導教員、研究指導補助教員を配置している。

（博士後期課程）

新たに設置する博士後期課程については、上記の（1）～（3）で述べた定員充足及び人材需要の根拠に加え、本課程は入学定員2人（収容定員6人）に対し研究指導教員及び研究指導補助教員を16人配置する計画であり、学生1人あたり2.7人以上の教員が配置されることから、本課

程の定員設定は、学生に対する研究指導体制及び教員負担において最適な設定と考えている。研究指導においては最大限の効果が期待され、博士後期課程の定員設定として適切かつ合理的であると考える。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

添 付 資 料

- 別紙 1 新設組織が置かれる都道府県への入学状況
- 別紙 2 既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）
- 別紙 3 既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績
-
- 資料 1 「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針（2023 年 10 月改訂）」（抜粋）
- 資料 2 大阪府の看護系大学院博士後期課程の充足状況
- 資料 3 大阪府の看護系大学院博士後期課程の学納金
- 資料 4 入学意向アンケート調査①[摂南大学修士課程等対象調査]報告書
- 資料 5 入学意向アンケート調査②[インターネットモニター対象調査]報告書
- 資料 6 採用意向アンケート調査報告書
- 資料 7 「看護系大学に関する実態調査の年次比較- 2018 年度～2022 年度-」（日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会との協働実施）（抜粋）

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1			
2			
3			
4			
5			
	全 体		

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	大阪府	102.97%	101.38%	101.46%
2				

※学部

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1	保健系（M）	82.38%	86.01%	86.14%
2	保健系（D）	69.89%	76.34%	83.17%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	3人	3人	3人	3人	6人	4人	
	延べ人数	志願者数	13人	4人	8人	25人	21人	14人
		受験者数	11人	4人	8人	10人	10人	9人
		合格者数	4人	3人	4人	3人	6人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	13人	4人	8人	25人	21人	14人
		受験者数	11人	4人	8人	10人	10人	9人
		合格者数	4人	3人	4人	3人	6人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	4人	3人	4人	3人	6人	4人	
	学校推薦型選抜	募集人数	38人	38人	38人	38人	40人	38人
延べ人数		志願者数	1301人	1282人	1471人	1389人	1164人	1321人
		受験者数	1201人	1213人	1370人	1374人	1156人	1263人
		合格者数	256人	372人	429人	398人	428人	377人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	23人	32人	15人	18人	22人
実人数		志願者数	1301人	1282人	1471人	1389人	1164人	1321人
		受験者数	1201人	1213人	1370人	1374人	1156人	1263人
		合格者数	256人	372人	429人	398人	428人	377人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	20人	23人	32人	15人	18人	22人
入学者数		61人	65人	74人	84人	75人	72人	
一般選抜		募集人数	50人	50人	50人	50人	46人	49人
	延べ人数	志願者数	917人	982人	928人	792人	607人	845人
		受験者数	736人	830人	822人	684人	554人	725人
		合格者数	212人	171人	175人	196人	102人	171人
		うち追加合格者数	0人	31人	0人	0人	7人	8人
		辞退者数	12人	12人	14人	9人	4人	10人
	実人数	志願者数	917人	982人	928人	792人	607人	845人
		受験者数	736人	830人	822人	684人	554人	725人
		合格者数	212人	171人	175人	196人	102人	171人
		うち追加合格者数	0人	31人	0人	0人	7人	8人
		辞退者数	12人	12人	14人	9人	4人	10人
	入学者数	45人	29人	21人	30人	12人	27人	
	共通テスト利用入試	募集人数	9人	9人	9人	9人	8人	9人
延べ人数		志願者数	266人	254人	168人	166人	105人	192人
		受験者数	252人	224人	155人	157人	89人	175人
		合格者数	82人	41人	41人	30人	24人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	6人	1人
		辞退者数	1人	2人	5人	1人	0人	2人
実人数		志願者数	266人	254人	168人	166人	105人	192人
		受験者数	252人	224人	155人	157人	89人	175人
		合格者数	82人	41人	41人	30人	24人	44人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	6人	1人
		辞退者数	1人	2人	5人	1人	0人	2人
入学者数		0人	1人	0人	1人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	3人	2人	2人	0人	2人	2人
		受験者数	3人	2人	0人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	3人	2人	2人	0人	2人	2人
		受験者数	3人	2人	0人	0人	2人	1人
		合格者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	2人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
延べ人数		志願者数	2500人	2524人	2577人	2372人	1899人	2374人
		受験者数	2203人	2273人	2355人	2225人	1811人	2173人
		合格者数	554人	589人	649人	627人	560人	596人
		うち追加合格者数	0人	31人	0人	0人	13人	9人
		辞退者数	33人	37人	51人	25人	22人	34人
実人数		志願者数	2500人	2524人	2577人	2372人	1899人	2374人
		受験者数	2203人	2273人	2355人	2225人	1811人	2173人
		合格者数	554人	589人	649人	627人	560人	596人
		うち追加合格者数	0人	31人	0人	0人	13人	9人
		辞退者数	33人	37人	51人	25人	22人	34人
入学者数		110人	100人	99人	118人	93人	104人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	100人	100人	100人	100人	100人	100人
入学定員充足率	1.10	1.00	0.99	1.18	0.93	1.04
歩留率	0.20	0.17	0.15	0.19	0.17	0.18

（備考）R5年度入試より「専門学科総合学科出身者入試」「課外活動優秀者入試」を学校推薦型選抜から総合型選抜へ変更したが看護学部は募集していない。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：摂南大学のオープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	7495人	8863人	①取組概要 受験生やその保護者向けにキャンパスを開放し、大学紹介やキャンパスツアー、模擬授業や個別相談、入試プログラム等を実施。 R5年度入試対象（R4開催）：計6回開催（3/19. 6/12. 7/18. 7/31. 8/7. 8/11） R6年度入試対象（R5開催）：計6回開催（3/18. 6/25. 7/17. 7/23. 8/11. 8/12） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学学部のR6年度入試のオープンキャンパス（R5年開催）における入学率（入学者/OC参加者）は22.4%（1,130人）、R5年度入試の（R4年開催）における入学率（入学者/OC参加者）は23.0%（922人）である。入学率は学部、大学院とも大きくは変わらないと考えられるため、20%をオープンキャンパス（大学院の場合は説明会も含む）からの入学率として設定する。説明会参加者10人を目標として設定し、入学者2人（入学率20%）を実現する。 ③ 受験対象者数（b）について オープンキャンパスに参加したもののうち、高校3年生、既卒者および高卒認定取得者数。
うち受験対象者数(b)	4004人	5047人	
うち受験者数(c)	1685人	2176人	
うち入学者数(d)	922人	1130人	
(受験率 c/b)	42.1%	43.1%	
(入学率 d/b)	23.0%	22.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			/
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			/
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			/
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			/
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

※引用部分のページのみ抜粋

看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針

はじめに

保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護師等」という。）は、療養上の世話又は診療の補助、保健指導、助産等の実施を通じて、国民の保健医療の向上に大きく貢献してきている。

その看護師等は、就業者数を見ると、令和 2 年（2020 年）で約 173.4 万人と我が国医療関係職種の中で最も多数を占めており、チーム医療の中において、大きな役割を果たしてきているが、高齢化の進行に伴う看護ニーズの増大を受け、需要の増大が見込まれる。一方、我が国においては、少子高齢化が進行しており、令和 22 年（2040 年）に向けて、生産年齢人口（15 歳から 64 歳までの人口をいう。以下同じ。）が急減していく。

このように、現役世代（担い手）が急減する中で、増大し、多様化する看護ニーズや 24 時間体制の勤務に対応していくためには、新規養成、復職支援及び定着促進を柱に、看護師等の確保を推進していくとともに、生涯にわたって看護師等の業務を継続できるよう、看護師等個人の資質の向上を図っていくことが重要となる。

また、看護師等に係る需給の状況については、都道府県及び二次医療圏ごとに不足又は充足の状況が異なっていると同時に、訪問看護に従事する看護師等の需要が増大しているなど、地域・領域別に差異がある。このため、地域・領域の課題に応じた看護師等の確保対策を講じていくことが必要である。

あわせて、令和 2 年（2020 年）に発生した新型コロナウイルス感染症への対応に際しては、重症患者の診療に当たって、専門性の高い看護師を確保する必要性が特に高くなるとともに、感染症に的確に対応できる看護師等を迅速に応援派遣することが必要になった。今後の新興感染症（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号。以下「感染症法」という。）第 6 条第 7 項に規定する新型インフルエンザ等感染症、同条第 8 項に規定する指定感染症及び同条第 9 項に規定する新感染症をいう。以下同じ。）等の発生に備えて、専門性の高い看護師の養成を推進するとともに、新興感染症等の発生に的確に対応できる看護師等の迅速な確保を図るための体制整備を推進することが必要となる。

これらの課題に対応し、求められるニーズに対応できる看護師等の確保を進めるためには、中長期的視点に立って、養成、処遇の改善、資質の向上、就業の促進等について、関係者が一体となり総合的に進めることが必要である。

この指針は、国、地方公共団体、病院等（看護師等の人材確保の促進に関する法律（平成 4 年法律第 86 号。以下「法」という。）第 2 条第 2 項に規定する病院等※をいう。以下同じ。）、看護師等、そして国民がそれぞれの立場におい

「精神看護学」の新設や独自性のある教育の実施、単位の互換を円滑に実施するために時間数の表示から単位数の表示への変更などの改正が行われた。平成 20 年（2008 年）には、安全・安心な医療の再構築に向けた看護師等の資質向上を図るため、より臨床に近い形で学習し、知識・技術を統合させることを目的に「統合分野」を新設するなどの指定規則の改正が行われた。また、平成 21 年（2009 年）には、保健師助産師看護師法が改正され、少子高齢化の進行に伴う医療の需要の増大等に対応した良質な看護等を国民に提供する必要性に鑑み、看護師国家試験の受験資格を有する者として、大学の卒業者が位置付けられるとともに、保健師及び助産師の教育の課程の修業年限が 6 月以上から 1 年以上に延長された。

令和 2 年（2020 年）の指定規則改正では、臨床判断能力の基盤を強化するため、「人体の構造と機能」及び「疾病の成り立ちと回復の促進」について、単位数を増加するとともに、地域で暮らす人々の理解とそこで行われる看護についての学びを強化するため、「在宅看護論」を「地域・在宅看護論」とした上で、単位数を増加するなどの改正を行った。

また、養成数の増加、臨地実習の場の広がり等により、実習施設の確保が一層必要となっており、各都道府県において地域の実情に応じた実習施設の確保に向けた取組が実施されているところである。

（二） 教員養成の現状

看護基礎教育における教育内容を向上させ、質の高い看護師等を養成していくためには、教育環境の整備及び質の高い看護教員の確保が必要である。各職種の教育の課程ごとの専任教員数や教務主任の配置は指定規則において規定されており、平成 8 年（1996 年）の指定規則改正では、保健師及び助産師学校養成所の専任教員については 2 人以上を 3 人以上、看護師学校養成所 3 年課程は 4 人以上を 8 人以上とするなど、教員配置の充実が図られた。養成所教員の養成については、厚生労働省が認定した専任教員養成講習会や教務主任養成講習会を実施しているところである。また、大学教員の養成においては、看護系大学院の整備が進み、修士・博士取得者が増加し、大学教員の質担保につながっている。一方、看護系大学及び養成所の増加等により、看護教員は引き続き不足しており、看護教員の確保方策の検討が必要である。

また、看護師等の養成においては、学生が看護実践能力を獲得していくために、臨地実習での経験が重要であるため、臨地実習において、効果的な指導を行う実習指導者を育成するために、実習指導者講習会を実施しているところである。

の条件を満たす者について、日本の看護師国家試験等を受験する資格を認定する制度を設けている。必要な知識及び技能を有する外国人が看護師等国家試験を円滑に受験できるよう、こうした看護師国家試験等受験資格の認定を適切に実施していくことが重要である。

(二) 資質の高い看護師等の養成

ア 教育内容の見直し

看護師等の教育については、医学・医療の高度化・専門化や看護の理論、技術の進歩等に応じて法令等の改正が行われているが、今後も、実施した改正事項の効果検証を行いつつ、国民や社会のニーズに即した看護師等養成に寄与できるよう、随時、必要な見直しを行っていく必要がある。

また、療養の場が多様化し地域包括ケアが推進される中で、病院以外にも在宅医療や介護保険サービスなど様々な場面で看護のニーズが拡大している。

このため、訪問看護ステーションや介護施設・事業所における看護師等の需要の増加に対応するため、免許取得前からの多様な場における実習の充実を更に図っていくことが重要である。

イ 看護教員等養成の在り方

看護師等学校養成所の教員需要に対応していくとともに、看護教育の内容の充実を図り、養成される看護師等の資質を高めていくためには、理論やエビデンスと実践を結びつけて指導ができる資質の高い看護教員の確保を図ることが重要である。このため、都道府県及び関係団体等による専任教員養成講習会を開催し、質の高い看護教員の確保に努めているところであるが、さらに、看護教員に必要な資質・能力の維持・向上に資する効率的・効果的な継続教育を推進するほか、教育・研究力の高い看護教員の育成を強化する方策の検討が重要である。

また、看護師等学校養成所で行われている看護教育の内容と臨床現場の看護実践とが効果的に結びつき、質の高い看護教育の実施につながるよう、看護教員及び病院等の看護管理者等の相互の理解の下、看護師等学校養成所及び臨床現場の関係者の相互の交流や連携を深めるための仕組みを構築することも必要である。

看護教育においては、実習施設における指導が重要であり、実習施設の確保並びに指導に当たる実習指導者の確保及びその質の向上を図る必要がある。このため、国においては、看護学生の実習に対する国民の理解を得るための広報を継続して実施することが重要である。加えて、実

習の実質的効果が高まるよう、実習指導者に対する講習内容の検討及び指導技術の在り方等の検討に努めるとともに、都道府県においては、実習指導者講習会の効果的な実施に努めることが必要である。

今後、18歳人口の減少等に伴って、看護学生の減少が予想されることから、看護師等を安定的に養成するための取組や、地域において資質の高い看護教員や実習施設を安定的に確保するための取組について、地域の看護師等学校養成所の間で議論を行っていくことが望まれる。

ウ 看護系大学・大学院の充実

近年の医学・医療の進歩・発展に伴う高度化・専門分化等に十分対応し得る看護の専門的知識・技術と、豊かな人間性や的確な判断力を併せて有する資質の高い看護師等を大学において養成するという社会的な要請に応えるため、看護系大学・大学院の整備が図られ、看護師等の養成の柱の一つを担うものとして認知されている。

また、看護の提供の場の拡大への対応や、看護教育の充実に向けた人材の確保が必要であり、その基盤となる看護系大学（学部、学科を含む。以下同じ。）の整備が進んできており、現状においても増加している。

今後も、更なる高度化・多様化が見込まれる医療に対する国民のニーズに応え、良質な看護等を国民に提供するため、看護系大学の充実の推進とともに、新たな看護教育の手法の研究、看護技術の開発、看護実践の評価など、看護の質の向上に係るエビデンスの蓄積を担う研究者や教育者の養成を図ることも必要であり、看護系大学院における教育の質的な充実に努めることが必要である。

あわせて、保健師及び助産師の資質の向上を推進する観点から、保健師及び助産師に係る大学院をはじめとする様々な教育の課程における質的な充実に努めることが必要である。

第三 病院等に勤務する看護師等の処遇の改善に関する事項

一 夜勤等の業務負担の軽減及び業務の効率化

看護師等を確保し、その就業継続を推進していくためには、労働時間の短縮や業務負担の軽減を図っていくことが必要である。

特に、夜勤は、看護師等が勤務する上で大きな負担となっており、看護師等の継続勤務を促進する上では、その負担の軽減が必要である。このため、看護師等の夜勤負担を軽減し、働きやすい職場づくりを進める上で、入院患者の状況等に応じて、3交代制の場合は、複数を主として月8回以内の夜勤体制の構築に向けて、引き続き積極的に努力する必要があると

なお、学校教育においても、各学校段階を通して職場体験やインターンシップを含めた看護・福祉に関する体験学習の機会の充実に努めるなど、これから看護の道を志す若者の看護師等の役割に対する理解が促進されるよう適切な進路指導を行う必要がある。

あわせて、看護師等の専門性の具体的な内容及び役割並びに特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師その他の専門性の高い看護師の専門性の具体的な内容及び役割を発信することも重要である。

二 調査研究の推進

近年、医学・医療の高度化・専門化、生活様式・価値観の多様化に加え、多発する災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、看護に対する国民のニーズも高度化・多様化している。チーム医療の中で、看護の専門性を発揮し、国民のニーズに応えていけるよう、科学的根拠に基づく看護実践やA I・I C Tの活用といった技術水準の向上や業務効率化への取組が必要である。

このため、効果的かつ効率的な質の高い看護を実現するための研究を行う研究者の育成や広く看護現場で活用される看護ケアの評価、在宅における看護技術等看護全般にわたる研究が求められており、国としてもこれらに対する支援策を講じていくことが重要である。

三 看護師等の確保を図るための看護補助者による業務実施の推進

現役世代（担い手）が急減していく一方で、高齢化の進行に伴って看護ニーズが増大している状況において、看護師等が実施する必要がある診療の補助又は療養上の世話に係る業務について、必要な看護師等の確保を図っていくためには、看護補助者が実施可能な業務については、看護補助者が担っていく環境を整備していくことが重要になる。

このため、国においては、看護補助者の業務に必要な知識・技術の習得に向けた研修プログラムの開発、看護補助者の活用や病院等での呼称に関する好事例の情報発信、病院管理者等を対象とした看護補助者の活用に関するセミナーの開催などの取組を行うことが重要である。

また、都道府県ナースセンターにおいては、地域の実情や病院等のニーズに応じて、職業安定法（昭和22年法律第141号）に定める必要な届出を行った上で、看護師等の無料職業紹介と併せて、看護補助者の無料職業紹介も実施することが重要である。

診療報酬において、看護補助者の配置に係る加算や看護補助者に対してより充実した研修を実施した場合等の評価を行っており、病院等においては、これらを活用しつつ、看護補助者による業務実施を推進していくこと

【資料2】大阪府の看護系大学院博士後期課程の充足状況

No.	設置者	大学院	研究科	専攻	開設年度	立地	入学定員	収容定員	在籍学生数	収容定員充足率	備考
1	国立	大阪大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H12	大阪府吹田市	23	69	—	—	保健学専攻のみの学生数は非公開
2	公立	大阪公立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	R4	大阪府大阪市	10	30	29	0.97	
3	私立	大阪医科薬科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H26	大阪府高槻市	3	9	18	2.00	
4	私立	関西医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H30	大阪府枚方市	5	15	18	1.20	
5	私立	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	R2	大阪府大阪市	2	6	4	0.67	
6	私立	四天王寺大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	R2	大阪府羽曳野市	3	9	16	1.78	
国公立 合計							23	69	85	1.23	合計は大阪大学を除く
私立のみ							13	39	56	1.44	

※令和6（2024）年度の状況 出典は各大学HP

【資料3】大阪府の看護系大学院博士後期課程の学納金

	設置者	立地	大学院	研究科	専攻	入学金	授業料等	初年度入学金	修業年限分 学納金合計
1	私立	大阪府	大阪医科薬科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	580,000	780,000	1,940,000
2	私立	大阪府	関西医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	600,000	800,000	2,000,000
3	私立	大阪府	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科	看護学専攻	200,000	700,000	900,000	2,300,000
4	私立	大阪府	四天王寺大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	200,000	600,000	800,000	2,000,000
平均						200,000	620,000	820,000	2,060,000

※令和6年度（2024年度）の学納金 出典は各大学HP

※校友会費など委託徴収費は除く。

摂南大学大学院
看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）
入学意向アンケート調査①
[摂南大学大学院看護学研究科修士課程 在学生
及び修了生、看護教員等対象]
報告書

令和7年1月31日
株式会社高等教育総合研究所

1. 調査概要

調査目的	「摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)」(入学定員2名、令和8年度設置予定)の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	①摂南大学大学院看護学研究科修士課程の在学生及び修了生 ②摂南大学看護学部教員(修士学位のみ取得者) ③大阪府看護系大学協議会の所属大学教員(修士学位のみ取得者)
調査内容	・大学院進学意志 ・摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)に対する受験意志、入学意志
調査時期	令和6年9月～11月
調査方法	アンケート対象者に対し、個別にアンケート依頼のメールを送り、オンラインで回答を回収した。
回収件数	回収数:34件
調査結果	[受験意志] 予定する入学定員2名に対し、4人が受験意志(第一志望)を示した。 [入学意志] 受験意志(第一～第三志望以降)を示した回答者13人のうち4人が入学意志を示した。 [クロス集計] 「大学院進学希望」かつ「私立大学院を志望」かつ「看護学または保健学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」かつ「2026年度(開設年度)入学」の意志を示した者は2人であった。

2. 集計表

		アンケート回収数		34	
設問		選択肢		回答数	構成比
Q1	あなたの現状に当てはまるものをお答えください (択一)	1	学生	2	5.9%
		2	看護職	6	17.6%
		3	看護教員	11	32.4%
		4	看護職(大学院在学中)	7	20.6%
		5	看護教員(大学院在学中)	8	23.5%
		6	その他	0	0.0%
			合計	34	100.0%
Q2	修士学位の取得状況についてお答えください (択一)	1	現在修士課程に在学しており修了時に修士学位を取得予定である	11	32.4%
		2	修士学位を既に取得している	22	64.7%
		3	修士学位を取得しておらず取得する予定もない【アンケート終了】	1	2.9%
		4	その他【アンケート終了】	0	0.0%
			合計	34	100.0%
Q3	あなたの居住地をお答えください (択一)	1	大阪府	22	66.7%
		2	京都府	8	24.2%
		3	兵庫県	3	9.1%
		4	奈良県	0	0.0%
		5	和歌山県	0	0.0%
		6	滋賀県	0	0.0%
		7	三重県	0	0.0%
		8	その他	0	0.0%
			合計	33	100.0%
Q4	あなたは大学院への進学を検討していますか (択一)	1	すぐに進学したい	5	15.2%
		2	将来的に進学したい	22	66.7%
		3	進学は考えていない【アンケート終了】	6	18.2%
			合計	33	100.0%
Q5	志望する大学院の設置者の希望を選択してください (複数回答)	1	国立	14	51.9%
		2	公立	13	48.1%
		3	私立	22	81.5%
			合計	27	100.0%
Q6	大学院で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください (複数回答)	1	看護学	25	92.6%
		2	保健学	1	3.7%
		3	その他	5	18.5%
			合計	27	100.0%
Q7	摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)を受験したいと思いませんか (択一)	1	第一志望として受験する	4	14.8%
		2	第二志望として受験する	3	11.1%
		3	第三志望以降として受験する	6	22.2%
		4	受験しない【アンケート終了】	14	51.9%
			合計	27	100.0%
Q8	摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか (択一)	1	入学する	4	30.8%
		2	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	8	61.5%
		3	入学しない【アンケート終了】	1	7.7%
			合計	13	100.0%
Q9	Q7で「入学する」と回答された方にお尋ねします。	1	2026年度	4	33.3%
		2	2027年度	2	16.7%

	入学を希望する時期をお答えください（択一）	3	2028年度以降	6	50.0%
			合計	12	100.0%
Q10	入学に際して、長期履修学生への申請を希望しますか（択一）	1	希望する	5	41.7%
		2	希望しない	3	25.0%
		3	わからない・不明	4	33.3%
			合計	12	100.0%
Q11	摂南大学大学院看護学研究所看護学専攻博士後期課程で専攻したい領域をお答えください（択一）	1	基盤・療養看護学領域 基礎看護学	1	8.3%
		2	基盤・療養看護学領域 成人看護学	4	33.3%
		3	基盤・療養看護学領域 老年看護学	1	8.3%
		4	地域・次世代発達領域 小児看護学	2	16.7%
		5	地域・次世代発達領域 母性看護学	0	0.0%
		6	地域・次世代発達領域 精神看護学	2	16.7%
		7	地域・次世代発達領域 在宅看護学	0	0.0%
		8	地域・次世代発達領域 公衆衛生看護学	1	8.3%
		9	わからない・不明	1	8.3%
			合計	12	100.0%

※ 構成比はそれぞれの設問の回答者に対する割合

3. 結果の要点

(1) アンケート対象者の属性

本アンケートは、既設の摂南大学大学院看護学研究科修士課程の在學生及び修了生、摂南大学看護学部教員（修士学位のみ取得者）、大阪府看護系大学協議会の所属大学教員（修士学位のみ取得者）を対象に実施した。アンケート回答者の属性は以下の通りであり、學生が2人、看護職（大学院在学中の者を含む）が13人、看護教員（大学院在学中の者を含む）が19人の内訳となっている。このうち1人は問2で修士学位の取得予定がないことがわかったため、その1人を除いた33人に対して問3以降の質問を行った。

Q1	選択肢	回答数	構成比
あなたの現状に当てはまるものをお答えください (択一)	1 学生	2	5.9%
	2 看護職	6	17.6%
	3 看護教員	11	32.4%
	4 看護職（大学院在学中）	7	20.6%
	5 看護教員（大学院在学中）	8	23.5%
	6 その他	0	0.0%
	合計	34	100.0%

(2) 摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への受験・入学意志

受験意志（Q7）については、大学院進学希望（Q4）で、看護学または保健学を希望（Q6）する者27人を対象に質問した。27人のうち4人（14.8%）より受験意志（第一志望）が示され、受験意志（第一志望～第三志望以降）では13人（48.1%）の回答があった。受験意志を示した13人について、4人（30.8%）が入学意志（「入学する」回答）を示した。入学定員2人に対して、2倍の入学意志が示された。

表 摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への受験・入学意志

受験意志（Q7）			入学意志（Q8）	
第一志望として受験する	4 (14.8%)		13人 (48.1%)	入学する
第二志望として受験する	3 (11.1%)	志望順位が上位の他の志望校が 不合格の場合に入学する		8 (61.5%)
第三志望以降として受験する	6 (22.2%)	入学しない		1 (7.7%)
受験しない【アンケート終了】	14 (51.9%)			
合計	27 (100.0%)			

※ %はそれぞれの設問の回答者に対する割合

4. クロス集計

以下のクロス集計を行った結果、2人（入学定員2人の1.0倍）の入学意志を示した集団を得た。この集団は摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への強い入学意志を持つと考えられる。

アンケート対象者 [修士学位保持者] (Q2)	[大学院進学希望] (Q4)	[学校種] (Q5)	[興味のある 学問分野] (Q6)	[受験意志] (第一志 望) (Q7)	[入学意志] (Q8)	[入学年度] (Q9)
「修士学位保持または 取得予定」 33人 (100%)	「大学院進学希望」 27人 (81.8%)	「私立」 22人 (66.7%)	「看護学または保健学 分野」 21人 (63.6%)	「第一志望 として受験 する」 4人 (12.1%)	「入学する」 3人 (9.1%)	「2026年度」(開設年度) 2人 (6.1%)

※ %はアンケート対象者である修士学位保持者または取得予定者（n = 33）に対する割合

※ 集計数は左から順に当該選択肢を回答した回答者に限定をかけたもの

※ 表の面積は回答数と比例しない。

5. アンケート画面及びリーフレット（設置計画の概要）

本調査で使用したアンケート画面（オンライン）及び画面上で示した設置計画（リーフレット）を次ページ以降に掲載する。

- ①アンケート画面
- ②リーフレット（設置計画の概要）

摂南大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称） 入学意向アンケート 調査

<アンケート対象>

摂南大学大学院 看護学研究科 修士課程 在学生、修了生
摂南大学看護学部教員（修士学位のみ）
大阪府看護系大学協議会の所属大学教員（修士学位のみ）

回答する

◆推奨環境について

アンケートにお答え頂くには下記の環境が必要です。

- ・JavaScriptを有効にしてください。
- ・Cookieを有効(受け入れる)にしてください。

●WindowsPC

GoogleChrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)

●MAC

Safari(最新版)

●スマートフォン/タブレット

iOS/AndroidOSの標準ブラウザ

※フィーチャーフォン(ガラケー)では回答できません。

※すべての機種での動作を保証するものではありません。

Q1. あなたの現状に当てはまるものをお答えください (必須)

学生

看護職

看護教員

看護職（大学院在学中）

看護教員（大学院在学中）

その他

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q2. 修士学位の取得状況についてお答えください (必須)

- 現在修士課程に在学しており修了時に修士学位を取得予定である
- 修士学位を既に取得している
- 修士学位を取得しておらず取得する予定もない 【アンケート終了】
- その他 【アンケート終了】

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q3. あなたの居住地をお答えください (必須)

大阪府

京都府

兵庫県

奈良県

和歌山県

滋賀県

三重県

その他

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q4. あなたは大学院への進学を検討していますか (必須)

- すぐに進学したい
- 将来的に進学したい
- 進学は考えていない【アンケート終了】

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q5. 志望する大学院の設置者の希望を選択してください（複数回答可） **（必須）**

国立

公立

私立

いずれかの選択肢を選択してください

つぎへ

Q6. 大学院で学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください（複数回答可） **(必須)**

看護学

保健学

その他

いずれかの選択肢を選択してください

つぎへ

2026年4月 開設予定[設置構想中]

摂南大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）

設置計画の概要

課程の概要

研究科名称 : 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）
 入学定員 : 2人
 学位名称 : 博士（看護学）
 設置位置 : 摂南大学枚方キャンパス
 大阪府枚方市長尾峠町4-5-1
 修業年限 : 3年

博士後期課程の設置の理念

医療・看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とします。

養成人材像

多様化・複雑化する現代の医療・看護の課題を探究する専門性と、課題解決に向けた研究力、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を有する高度専門職業人及び教育・研究者を養成します。

具体的な養成人材像と身につける能力

- 【国内外の地域社会における医療・看護の実践現場で活躍できる高度専門職業人】
多様な分野で深い専門性を養い、地域における様々な課題を解決すべく、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を持った人
- 【地域社会に求められる知識を創造し、医療・看護を牽引する研究者】
課題の探究と環境調整に関する研究能力や、多様な分野で深い専門性を養い、医療および看護の現場に還元できる研究を推進できる人
- 【次世代の医療や看護にかかわる高度専門職業人を育成する教育者】
自立して研究遂行できる力を持ち、多様で複雑な社会背景にある次世代の医療・看護を担う質の高い専門職者を養成できる人

カリキュラム

	授業科目	単位	科目の概要
基盤科目	看護学研究方法特論	必修2単位	ヘルスケアの課題解決に貢献するための思考力と確かな研究力を養い、新規性と発展性のある研究に必要な研究方法論を修得する。
	看護実践応用特論	必修1単位	多様な分野からゲストスピーカーも加え、医療や看護における最新の理論や学際的な知見を学ぶ。
専門科目	基盤・療養看護学特論	選択2単位	【基礎看護学 成人看護学 老年看護学】 実践や研究に結びつく理論や最新のモデルについて学ぶ。
	地域・次世代発達看護学特論	選択2単位	【小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護学 公衆衛生看護学】 地域保健プログラムを推進する方法について探究する。
研究科目	特別研究	必修12単位	研究計画書に従い研究活動を進め、集大成として博士論文を完成する。

ポシアドシニミット

本課程では、教育目標を達成するために、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。
 AP1 医療・看護に関わる専門分野の高度で深い知識を有している。
 AP2 医療・看護に関する多角的な視点と高度な研究遂行に必要な科学的・論理的思考力を有している。
 AP3 医療・看護への関心や倫理観をもち、課題解決に向けた研究遂行に主体的に取り組む姿勢を有し、地域社会に貢献する強い意志を有している。
 AP4 研究成果を学会などで発表できるプレゼンテーション力を有している。

の修進了路後

- ・看護系大学の教育・研究者
- ・保健・医療・福祉の機関・施設の管理職

本研究科の学納金（予定）

入学金	授業料 教育充実費	初年度納入金	修業年限(3年) 合計学納金
220,000円	540,000円 120,000円	880,000円	2,200,000円

※摂南大学大学院では、日本学生支援機構奨学金・高等教育の修学支援制度・摂南大学学内一般奨学金・民間団体や地方自治体等の奨学金により、給付または貸与の奨学金制度を提供しています。また、看護学研究科では長期履修制度を導入しています。

【参考】本研究科の競合校

大学院	研究科 専攻名
大阪医科薬科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程
関西医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程

アクセス（摂南大学枚方キャンパス）



- 京阪本線「樟葉」駅（京橋駅から特急で20分）からバスで約10分
- JR学研都市線「松井山手」駅（京橋駅から快速で30分）からバスで約10分

※上記に記載した内容は全て設置構想中の予定であり、変更の可能性があります。

Q7. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程
（仮称）を受験したいと思いませんか（必須）

- 第一志望として受験する
- 第二志望として受験する
- 第三志望以降として受験する
- 受験しない【アンケート終了】

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q8. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）を受験して合格した場合、入学を希望しますか **(必須)**

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない【アンケート終了】

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q9. Q7で「入学する」と回答された方にお尋ねします。入学を希望する時期をお答えください **(必須)**

2026年度

2027年度

2028年度以降

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q10. 入学に際して、長期履修学生*への申請を希望しますか
*所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長し教育課程を履修
することを認める制度です。 (必須)

希望する

希望しない

わからない・不明

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

Q11. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程
で専攻したい領域をお答えください
(もっともよくあてはまるもの1つにマーク) (必須)

基盤・療養看護学領域 基礎看護学

基盤・療養看護学領域 成人看護学

基盤・療養看護学領域 老年看護学

地域・次世代発達領域 小児看護学

地域・次世代発達領域 母性看護学

地域・次世代発達領域 精神看護学

地域・次世代発達領域 在宅看護学

地域・次世代発達領域 公衆衛生看護学

わからない・不明

これらの選択肢から1つ選択してください

つぎへ

摂南大学大学院
看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）
入学意向アンケート調査②
[インターネットモニター対象調査]
報告書

令和7年1月31日
株式会社高等教育総合研究所

1. 調査概要

調査目的	「摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)」(入学定員2名、令和8年度設置予定)の学生確保の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	インターネット調査会社の登録アンケートモニターを対象とした。 31,877人のアンケートモニターから、看護師資格、修士学位(取得予定を含む)を保持している調査対象73人をスクリーニングで抽出し対象とした。
調査内容	・大学院(博士後期課程)進学意志 ・摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)に対する受験意志、入学意志
調査時期	令和6年12月
調査方法	インターネット調査会社に登録しているモニターに対し、メールでアンケートの依頼を行い、パソコンやスマートフォンにより回答を得た。
回収件数	回収数:73件
調査結果	[受験意志] 予定する入学定員2名に対し、3人が受験意志(第一志望)を示した。 [入学意志] 受験意志(第一～第三志望以降)を示した回答者18人のうち7人が入学意志を示した。 [クロス集計] 「大学院進学希望」かつ「私立大学院を志望」かつ「看護学または保健学分野を志望」かつ「受験意志(第一志望)」かつ「入学意志」かつ「2026年度(開設年度)入学」の意志を示した者は2人であった。
調査実施企業	株式会社クロス・マーケティング(インターネット調査会社) 株式会社高等教育総合研究所(調査の企画と実施)

2. 集計表

		スクリーニング調査全体母数	31,877	
		スクリーニング抽出調査対象数	73	
	設問	選択肢	回答数	構成比
Q1	あなたの現状に当てはまるものをお答えください (択一)	1 学生(看護系大学院)	7	9.6%
		2 看護職	36	49.3%
		3 看護教員	10	13.7%
		4 看護職(大学院在学中)	4	5.5%
		5 看護教員(大学院在学中)	2	2.7%
		6 その他【アンケート終了】	14	19.2%
		合計	73	100.0%
Q2	修士学位の取得状況についてお答えください (択一)	1 現在修士課程に在学しており修了時に修士学位を取得予定である	12	20.3%
		2 修士学位を既に取得している	36	61.0%
		3 修士学位を取得しておらず取得する予定もない【アンケート終了】	8	13.6%
		4 その他【アンケート終了】	3	5.1%
		合計	59	100.0%
Q3	あなたの居住地をお答えください (択一)	1 大阪府	5	10.4%
		2 京都府	4	8.3%
		3 兵庫県	2	4.2%
		4 奈良県	1	2.1%
		5 和歌山県	2	4.2%
		6 滋賀県	0	0.0%
		7 三重県	0	0.0%
		8 その他(近畿地区以外)	34	70.8%
		合計	48	100.0%
Q4	あなたは大学院博士後期課程への進学を検討していますか (択一)	1 すぐに進学したい	8	16.7%
		2 将来的に進学したい	16	33.3%
		3 進学は考えていない【アンケート終了】	24	50.0%
		合計	48	100.0%
Q5	志望する大学院の設置者の希望を選択してください (複数回答)	1 国立	18	75.0%
		2 公立	15	62.5%
		3 私立	6	25.0%
		合計	24	100.0%
Q6	学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から選択してください。 (複数回答)	1 看護学	16	66.7%
		2 保健学	9	37.5%
		3 その他	2	8.3%
		合計	24	100.0%
Q7	摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)を受験したいと思いませんか (択一)	1 第一志望として受験する	3	12.5%
		2 第二志望として受験する	8	33.3%
		3 第三志望以降として受験する	7	29.2%
		4 受験しない【アンケート終了】	6	25.0%
		合計	24	100.0%
Q8	摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか (択一)	1 入学する	7	38.9%
		2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	11	61.1%
		3 入学しない【アンケート終了】	0	0.0%
		合計	18	100.0%
Q9		1 2026年度(開設年度)	5	27.8%

	「入学する」と回答された方 にお尋ねします。入学を希望 する時期をお答えください (択一)	2	2027 年度	10	55.6%
		3	2028 年度以降	3	16.7%
			合計	18	100.0%
Q10	入学に際して、長期履修学生 の申請を希望しますか (択一)	1	希望する	12	66.7%
		2	希望しない	5	27.8%
		3	わからない・不明	1	5.6%
			合計	18	100.0%
Q11	摂南大学大学院看護学研究科 看護学専攻博士後期課程で専 攻したい領域をお答えくださ い。 (複数回答)	1	基盤・療養看護学領域 基礎看護学	5	27.8%
		2	基盤・療養看護学領域 成人看護学	3	16.7%
		3	基盤・療養看護学領域 老年看護学	7	38.9%
		4	地域・次世代発達領域 小児看護学	4	22.2%
		5	地域・次世代発達領域 母性看護学	3	16.7%
		6	地域・次世代発達領域 精神看護学	2	11.1%
		7	地域・次世代発達領域 在宅看護学	3	16.7%
		8	地域・次世代発達領域 公衆衛生看護学	4	22.2%
		9	わからない・不明	0	0.0%
			合計	18	100.0%

※構成比%はそれぞれの設問の回答者に対する割合

3. 結果の要点

(1) アンケート対象者の属性と居住地

本アンケートは、インターネット調査会社の登録アンケートモニターを対象に実施した。まず、31,877人のアンケートモニターから、看護師資格、修士学位（取得予定を含む）を保持している調査対象73人を抽出した。

アンケート回答者の属性（Q1）は以下の通りであり、学生が7人、看護職（大学院在学中の者を含む）が40人、看護教員（大学院在学中の者を含む）が12人の内訳となっており、アンケート対象者として適切と言える。

Q1	選択肢	回答数	構成比
あなたの現状に当てはまるものをお答えください (択一)	1 学生（看護系大学院）	7	9.6%
	2 看護職	36	49.3%
	3 看護教員	10	13.7%
	4 看護職（大学院在学中）	4	5.5%
	5 看護教員（大学院在学中）	2	2.7%
	6 その他【アンケート終了】	14	19.2%
	合計	73	100.0%

※ 構成比%はそれぞれの設問の回答者に対する割合

回答者の居住地（Q3）は、回答者48人のうち近畿地区の回答者は14人（29.2%）となっている。回答者の居住地（調査範囲）は全国となっているが、遠距離の通学や遠隔地からの入学も想定される博士後期課程という特性上問題はないと考えている。

Q3	選択肢	回答数	構成比
あなたの居住地をお答えください (択一)	1 大阪府	5	10.4%
	2 京都府	4	8.3%
	3 兵庫県	2	4.2%
	4 奈良県	1	2.1%
	5 和歌山県	2	4.2%
	6 滋賀県	0	0.0%
	7 三重県	0	0.0%
	8 その他（近畿地区以外）	34	70.8%
	合計	48	100.0%

※ 構成比%はそれぞれの設問の回答者に対する割合

(2) 摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への受験・入学意志

受験意志（Q7）については、大学院進学希望（Q4）で、看護学または保健学を希望（Q6）する者 24 人を対象に質問した。24 人のうち 3 人（12.5%）より受験意志（第一志望）が示され、受験意志（第一志望～第三志望以降）では 18 人（75.0%）の回答があった。受験意志を示した 18 人について、7 人（38.9%）が入学意志（「入学する」回答）を示した。入学定員 2 人に対して、3.5 倍の入学意志が示された。

表 摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への受験・入学意志

受験意志（Q7）		入学意志（Q8）		
第一志望として受験する	3 (12.5%)	18 人 (75.0%)	入学する	7 (38.9%)
第二志望として受験する	8 (33.3%)		志望順位が上位の他の志望校が 不合格の場合に入学する	11 (61.1%)
第三志望以降として受験する	7 (29.2%)		入学しない	0 (0.0%)
受験しない【アンケート終了】	6 (25.0%)			
合計	24 (100.0%)			

※ 構成比%はそれぞれの設問の回答者に対する割合

4. クロス集計

以下のクロス集計を行った結果、2人（入学定員2人の1.0倍）の入学意志を示した集団を得た。この集団は摂南大学大学院看護学研究科博士後期課程（仮称）への強い入学意志を持つと考えられる。

アンケート対象者 [看護師資格・修士学位] (Q1-Q2)	[大学院（博士後期課程）進学希望] (Q4)	[学校種] (Q5)	[興味のある 学問分野] (Q6)	[受験意志] (第一志望) (Q7)	[入学意志] (Q8)	[入学年度] (Q9)
「看護師資格保持」 「修士学位保持または取得予定」 48人 (100%)	「大学院（博士後期課程）進学希望」 24人 (50.0%)	「私立」 6人 (12.5%)	「看護学または保健学 分野」 6人 (12.5%)	「第一志望として受験する」 3人 (6.3%)	「入学する」 3人 (6.3%)	「2026年度」 (開設年度) 2人 (4.2%)

※ %はアンケート対象者である看護師資格保持者、修士学位保持者または取得予定者（n = 48）に対する割合

※ 集計数は左から順に当該選択肢を回答した回答者に限定をかけたもの

※ 表の面積は回答数と比例しない。

5. アンケート画面及びリーフレット（設置計画の概要）

本調査で使用したアンケート画面（オンライン）及び画面上で示した設置計画（リーフレット）を次ページ以降に掲載する。

- ①アンケート画面
- ②リーフレット（設置計画の概要）

看護系大学院博士後期課程についてのアンケート

アンケートにご協力をお願い致します。

回答する

◆推奨環境について

アンケートにお答え頂くには下記の環境が必要です。

- ・ JavaScriptを有効にしてください。
- ・ Cookieを有効(受け入れる)にしてください。

●WindowsPC

GoogleChrome(最新版)/Mozilla Firefox(最新版)

●MAC

Safari(最新版)

●スマートフォン/タブレット

iOS/AndroidOSの標準ブラウザ

※フィーチャーフォン(ガラケー)では回答できません。

※すべての機種での動作を保証するものではありません。

Q1. あなたの現状に当てはまるものをお答えください (必須)

学生 (看護系大学院)

看護職

看護教員

看護職 (大学院在学中)

看護教員 (大学院在学中)

その他【アンケート終了】

つぎへ

Q2. 修士学位の取得状況についてお答えください (必須)

現在修士課程に在学しており修了時に修士学位を取得予定である

修士学位を既に取得している

修士学位を取得しておらず取得する予定もない【アンケート終了】

その他【アンケート終了】

つぎへ

Q3. あなたの居住地をお答えください (必須)

大阪府

京都府

兵庫県

奈良県

和歌山県

滋賀県

三重県

その他（近畿地区以外）

つぎへ

Q4. あなたは大学院博士後期課程への進学を検討していますか (必須)

- すぐに進学したい
- 将来的に進学したい
- 進学は考えていない【アンケート終了】

つぎへ

Q5. 志望する大学院の設置者の希望を選択してください（あてはまるもの全てにマーク） **(必須)**

国立

公立

私立

つぎへ

Q6. 学びたいと考えている興味のある学問分野を次の中から
選択してください。（あてはまるもの全てにマーク） **(必須)**

看護学

保健学

その他

つぎへ

2026年4月 開設予定[設置構想中]

摂南大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）

設置計画の概要

課程の概要

研究科名称 : 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）
 入学定員 : 2人
 学位名称 : 博士（看護学）
 設置位置 : 摂南大学枚方キャンパス
 大阪府枚方市長尾峠町4-5-1
 修業年限 : 3年

博士後期課程の設置の理念

医療・看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とします。

養成人材像

多様化・複雑化する現代の医療・看護の課題を探究する専門性と、課題解決に向けた研究力、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を有する高度専門職業人及び教育・研究者を養成します。

具体的な養成人材像と身につける能力

- 【国内外の地域社会における医療・看護の実践現場で活躍できる高度専門職業人】
多様な分野で深い専門性を養い、地域における様々な課題を解決すべく、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を持った人
- 【地域社会に求められる知識を創造し、医療・看護を牽引する研究者】
課題の探究と環境調整に関する研究能力や、多様な分野で深い専門性を養い、医療および看護の現場に還元できる研究を推進できる人
- 【次世代の医療や看護にかかわる高度専門職業人を育成する教育者】
自立して研究遂行できる力を持ち、多様で複雑な社会背景にある次世代の医療・看護を担う質の高い専門職者を養成できる人

カリキュラム

	授業科目	単位	科目の概要
基盤科目	看護学研究方法特論	必修2単位	ヘルスケアの課題解決に貢献するための思考力と確かな研究力を養い、新規性と発展性のある研究に必要な研究方法論を修得する。
	看護実践応用特論	必修1単位	多様な分野からゲストスピーカーも加え、医療や看護における最新の理論や学際的な知見を学ぶ。
専門科目	基盤・療養看護学特論	選択2単位	【基礎看護学 成人看護学 老年看護学】 実践や研究に結びつく理論や最新のモデルについて学ぶ。
	地域・次世代発達看護学特論	選択2単位	【小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護学 公衆衛生看護学】 地域保健プログラムを推進する方法について探究する。
研究科目	特別研究	必修12単位	研究計画書に従い研究活動を進め、集大成として博士論文を完成する。

ポシヨドシニミツ

本課程では、教育目標を達成するために、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。
 AP1 医療・看護に関わる専門分野の高度で深い知識を有している。
 AP2 医療・看護に関する多角的な視点と高度な研究遂行に必要な科学的・論理的思考力を有している。
 AP3 医療・看護への関心や倫理観をもち、課題解決に向けた研究遂行に主体的に取り組む姿勢を有し、地域社会に貢献する強い意志を有している。
 AP4 研究成果を学会などで発表できるプレゼンテーション力を有している。

の修進了路後

- ・看護系大学の教育・研究者
- ・保健・医療・福祉の機関・施設の管理職

本研究科の学納金（予定）

入学金	授業料 教育充実費	初年度納入金	修業年限(3年) 合計学納金
220,000円	540,000円 120,000円	880,000円	2,200,000円

※摂南大学大学院では、日本学生支援機構奨学金・高等教育の修学支援制度・摂南大学学内一般奨学金・民間団体や地方自治体等の奨学金により、給付または貸与の奨学金制度を提供しています。また、看護学研究科では長期履修制度を導入しています。

【参考】本研究科の競合校

大学院	研究科 専攻名
大阪医科薬科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程
関西医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程

アクセス（摂南大学枚方キャンパス）



- 京阪本線「樟葉」駅（京橋駅から特急で20分）からバスで約10分
- JR学研都市線「松井山手」駅（京橋駅から快速で30分）からバスで約10分

※上記に記載した内容は全て設置構想中の予定であり、変更の可能性があります。

Q7. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程
(仮称) を受験したいと思いますか (必須)

- 第一志望として受験する
- 第二志望として受験する
- 第三志望以降として受験する
- 受験しない【アンケート終了】

つぎへ

Q8. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程
(仮称)を受験して合格した場合、入学を希望しますか (必須)

入学する

志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する

入学しない【アンケート終了】

つぎへ

Q9. 「入学する」と回答された方にお尋ねします。入学を希望する時期をお答えください (必須)

2026年度（開設年度）

2027年度

2028年度以降

つぎへ

Q10. 入学に際して、長期履修学生※の申請を希望しますか
（※所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長し教育課程を履修することを認める制度です。） **(必須)**

希望する

希望しない

わからない・不明

つぎへ

Q11. 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程で専攻したい領域をお答えください。（複数選択可能） **(必須)**

基盤・療養看護学領域 基礎看護学

基盤・療養看護学領域 成人看護学

基盤・療養看護学領域 老年看護学

地域・次世代発達領域 小児看護学

地域・次世代発達領域 母性看護学

地域・次世代発達領域 精神看護学

地域・次世代発達領域 在宅看護学

地域・次世代発達領域 公衆衛生看護学

わからない・不明

つぎへ

摂南大学大学院
看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）
採用意向アンケート調査
報告書

令和7年1月31日
株式会社高等教育総合研究所

1. 調査概要

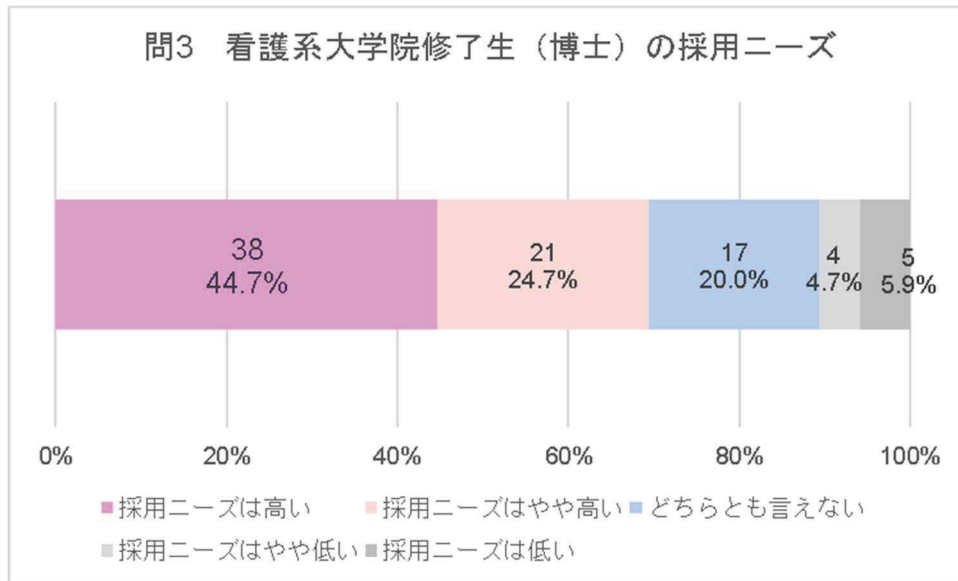
調査目的	摂南大学大学院看護学研究科（仮称）（入学定員2名）における修了後の採用・就職（人材需要）の見込みを測定することを目的とする。
調査対象	本課程の修了後に採用が見込まれる以下の事業所 （業種）看護系大学、看護系短期大学、病院 （地域）看護系大学、看護系短期大学：全国 病院：近畿地区 （依頼件数）合計：390事業所
調査内容	・回答事業所の基本情報（業種・所在地等） ・摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）修了生の採用意向
調査時期	令和6年10月～11月
調査方法	調査対象事業所の人事・採用担当者宛にアンケート及び本課程のリーフレットを郵送し、アンケートはQRコード読み取りからの回答をオンラインで回収した。
回収件数	有効回答数：85件（配布390件に対し、回収率 21.8%）
調査結果の概要	・採用意向：25事業所（29.4%） ・回答事業所における継続的な採用可能人数の合計：35人

2. 集計表

		依頼件数	390	回収率
		回収件数	85	21.8%
	設問	選択肢	回答	構成比
問1	貴院・貴学の所在地をお答えください。 (択一)	1 大阪府	22	25.9%
		2 京都府	3	3.5%
		3 兵庫県	5	5.9%
		4 和歌山県	2	2.4%
		5 奈良県	6	7.1%
		6 滋賀県	3	3.5%
		7 三重県	2	2.4%
		8 その他	42	49.4%
		合計	85	100.0%
問2	貴院・貴学の事業種をお答えください。 (択一)	1 病院	25	29.4%
		2 大学	59	69.4%
		3 短期大学	1	1.2%
		4 その他	0	0.0%
		合計	85	100.0%
問3	貴院・貴学における看護系大学院修了生 (博士)の採用ニーズ(人材需要)について お答えください。 (択一)	1 採用ニーズは高い	38	44.7%
		2 採用ニーズはやや高い	21	24.7%
		3 どちらとも言えない	17	20.0%
		4 採用ニーズはやや低い	4	4.7%
		5 採用ニーズは低い	5	5.9%
		合計	85	100.0%
問4	摂南大学が設置構想中の大学院看護学研究 科看護学専攻博士後期課程(仮称)が養成 する人材は、今後の社会においてニーズが 高いと思われますか。 (択一)	1 人材ニーズは高い	26	30.6%
		2 人材ニーズはやや高い	27	31.8%
		3 どちらとも言えない	28	32.9%
		4 人材ニーズはやや低い	3	3.5%
		5 人材ニーズは低い	1	1.2%
		合計	85	100.0%
問5	摂南大学が設置構想中の大学院看護学研究 科看護学専攻博士後期課程(仮称)が養成 する人材(博士)を、貴院・貴学で継続的 に採用したいと思われませんか。(択一)	1 採用したい	25	29.4%
		2 採用しない	5	5.9%
		3 わからない	55	64.7%
		合計	85	100.0%
問6	【問5の「採用したい」回答者のみ】単年 度で採用可能な人数についてお答えくださ い。 (択一)	1 1人	17	20.0%
		2 2人	6	7.1%
		3 3人以上	2	2.4%
		4 回答権限なし	60	70.6%
		合計	85	100.0%

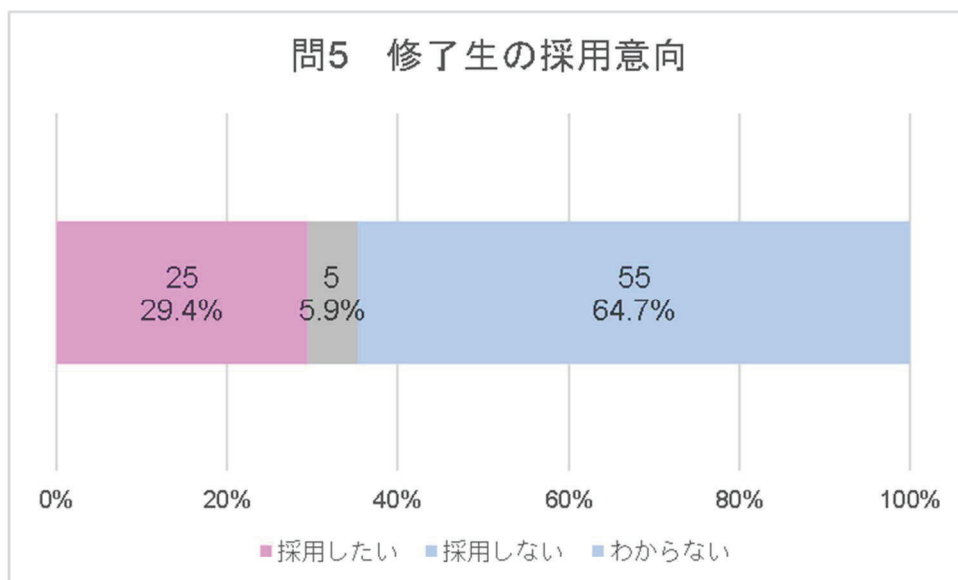
3. 結果の要点

(1) 看護系大学院修了生（博士）の採用ニーズ（問3）



看護系大学院修了生（博士）の採用ニーズについて、38 事業所（44.7%）が「採用ニーズは高い」、21 事業所（24.7%）が「採用ニーズはやや高い」の結果となり、合わせて 59 事業所（69.4%） から博士人材について採用ニーズが示された。

(2) 摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）修了生の採用意向（問5）



25 事業所（29.4%） から「採用したい」の回答を得ており、本課程（入学定員 2 名）について、入学定員を上回る十分な修了後の就職の見込みが示された。

(3) 採用の場合の採用可能人数 (問 6)

	問 6 選択肢 (採用可能人数)	回答数	構成比	採用可能人数
1	1人	17	20.0%	17人
2	2人	6	7.1%	12人
3	3人以上	2	2.4%	6人
4	回答権限なし	60	70.6%	—
	合計	85	100.0%	35人

「採用したい」の回答事業所 25 件 (大学、病院) における、採用可能人数の合計は 35 人となり、入学定員 2 名の 17.5 倍となった。

(4) 業種別クロス集計

→問 2 (事業種) と問 5 (採用意向) でクロス集計をかけたところ、以下の表の結果となった。

採用意向	大学		短期大学		病院		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
採用したい	19	32.2%	0	0.0%	6	24.0%	25	29.4%
採用しない	5	8.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	5.9%
わからない	35	59.3%	1	100.0%	19	76.0%	55	64.7%
合計	59	100.0%	1	100.0%	25	100.0%	85	100.0%

※%は大学、病院等各業種における採用意向の構成比

大学は 59 校のうち 19 校 (32.2%) から「採用したい」、病院からは 25 院のうち 6 院 (24.0%) から「採用したい」の回答を得た。本課程の修了後の進路と想定される看護系大学、病院の両方から採用意向が示された。

4. アンケート画面及びリーフレット (設置計画の概要)

本調査で使用したアンケート画面 (オンライン) 及び設置計画を示したリーフレット (郵送) を次ページ以降に掲載する。

①アンケート画面

②リーフレット (設置計画の概要)

摂南大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称） 採用意向アンケート調査

1/3ページ

摂南大学では、2026（令和8）年4月に大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）の設置を構想しています。

本学ではこのアンケート調査を通して、病院・大学等の皆さまからご意見をお聞きし、研究科の構想内容に反映したいと考えています。本アンケートは無記名の意識調査です。アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

※このアンケート調査は摂南大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

※本アンケートおよびリーフレットに記載されている内容については予定であり、変更される可能性があります。

規約に同意する **必須**

本アンケートへの回答は一事業所につき一回のみとなります。

同意する

入力してください

未入力の項目があります

摂南大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称） 採用意向アンケート調査

2/3ページ

問1 貴院・貴学の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

大阪府

京都府

兵庫県

和歌山県

奈良県

滋賀県

三重県

その他

問2 貴院・貴学の事業種をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

病院

大学

短期大学

その他

問3 貴院・貴学における看護系大学院修了生（博士）の採用ニーズ（人材需要）についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

採用ニーズは高い

採用ニーズはやや高い

どちらとも言えない

採用ニーズはやや低い

採用ニーズは低い

摂南大学大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称） 採用意向アンケート調査

3/3ページ

同封の摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）
の概要をご覧の上で、以下の設問にお答えください。

問4 摂南大学が設置構想中の大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

人材ニーズは高い

人材ニーズはやや高い

どちらとも言えない

人材ニーズはやや低い

人材ニーズは低い

問5 摂南大学が設置構想中の大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程（仮称）が養成する人材（博士）を、貴院・貴学で継続的に採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

採用したい

採用しない

わからない

問6 「採用したい」と回答された場合、単年度で採用可能な人数についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク） **必須**

1人

2人

3人以上

(自由回答) 設置構想中の摂南大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程(仮称)について期待される点、ご要望がございましたらご記入をお願いします。 **任意**

(任意回答) 可能であれば、ご回答いただいた貴院・貴学の病院名、学校名をご記載いただけますでしょうか。匿名アンケートになりますので、ご記載は任意になります。 **任意**

送信

戻る

2026年4月 開設予定[設置構想中]

摂南大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）

設置計画の概要

課程の概要

研究科名称 : 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）
 入学定員 : 2人
 学位名称 : 博士（看護学）
 設置位置 : 摂南大学枚方キャンパス
 大阪府枚方市長尾峠町45-1
 修業年限 : 3年

博士後期課程の設置の理念

医療・看護のあらゆる場において、地域社会の在り方や文化を踏まえた上で、多様な人々と協働して多様化、複雑化したこれからの社会に貢献できる人材を育成することを目的とします。

養成人材像

多様化・複雑化する現代の医療・看護の課題を探究する専門性と、課題解決に向けた研究力、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を有する高度専門職業人及び教育・研究者を養成します。

具体的な養成人材像と身につける能力

- 【国内外の地域社会における医療・看護の実現場で活躍できる高度専門職業人】
多様な分野で深い専門性を養い、地域における様々な課題を解決すべく、地域包括ケアシステムの多職種と連携・協働できる実践力を持った人
- 【地域社会に求められる知識を創造し、医療・看護を牽引する研究者】
課題の探究と環境調整に関する研究能力や、多様な分野で深い専門性を養い、医療および看護の現場に還元できる研究を推進できる人
- 【次世代の医療や看護にかかわる高度専門職業人を育成する教育者】
自立して研究遂行できる力を持ち、多様で複雑な社会背景にある次世代の医療・看護を担う質の高い専門職者を養成できる人

カリキュラム

	授業科目	単位	科目の概要
基盤科目	看護学研究方法特論	必修2単位	ヘルスケアの課題解決に貢献するための思考力と確かな研究力を養い、新規性と発展性のある研究に必要な研究方法論を修得する。
	看護実践応用特論	必修1単位	多様な分野からゲストスピーカーも加え、医療や看護における最新の理論や学際的な知見を学ぶ。
専門科目	基盤・療養看護学特論	選択2単位	【基礎看護学 成人看護学 老年看護学】 実践や研究に結びつく理論や最新のモデルについて学ぶ。
	地域・次世代発達看護学特論	選択2単位	【小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護学 公衆衛生看護学】 地域保健プログラムを推進する方法について探究する。
研究科目	特別研究	必修12単位	研究計画書に従い研究活動を進め、集大成として博士論文を完成する。

ポシヨドシニミツ

本課程では、教育目標を達成するために、次のような能力や態度・資質を備えた入学者を求めます。
 AP1 医療・看護に関わる専門分野の高度で深い知識を有している。
 AP2 医療・看護に関する多角的な視点と高度な研究遂行に必要な科学的・論理的思考力を有している。
 AP3 医療・看護への関心や倫理観をもち、課題解決に向けた研究遂行に主体的に取り組む姿勢を有し、地域社会に貢献する強い意志を有している。
 AP4 研究成果を学会などで発表できるプレゼンテーション力を有している。

の修進了路後

- ・看護系大学の教育・研究者
- ・保健・医療・福祉の機関・施設の管理職

本研究科の学納金（予定）

入学金	授業料 教育充実費	初年度納入金	修業年限(3年) 合計学納金
220,000円	540,000円 120,000円	880,000円	2,200,000円

※摂南大学大学院では、日本学生支援機構奨学金・高等教育の修学支援制度・摂南大学学内一般奨学金・民間団体や地方自治体等の奨学金により、給付または貸与の奨学金制度を提供しています。また、看護学研究科では長期履修制度を導入しています。

【参考】本研究科の競合校

大学院	研究科 専攻名
大阪医科薬科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程
関西医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻 博士後期課程

アクセス（摂南大学枚方キャンパス）



- 京阪本線「樟葉」駅（京橋駅から特急で20分）からバスで約10分
- JR学研都市線「松井山手」駅（京橋駅から快速で30分）からバスで約10分

※上記に記載した内容は全て設置構想中の予定であり、変更の可能性があります。

【資料 7】

※引用部分のページのみ抜粋

看護系大学に関する実態調査の年次比較 - 2018年度～2022年度 -

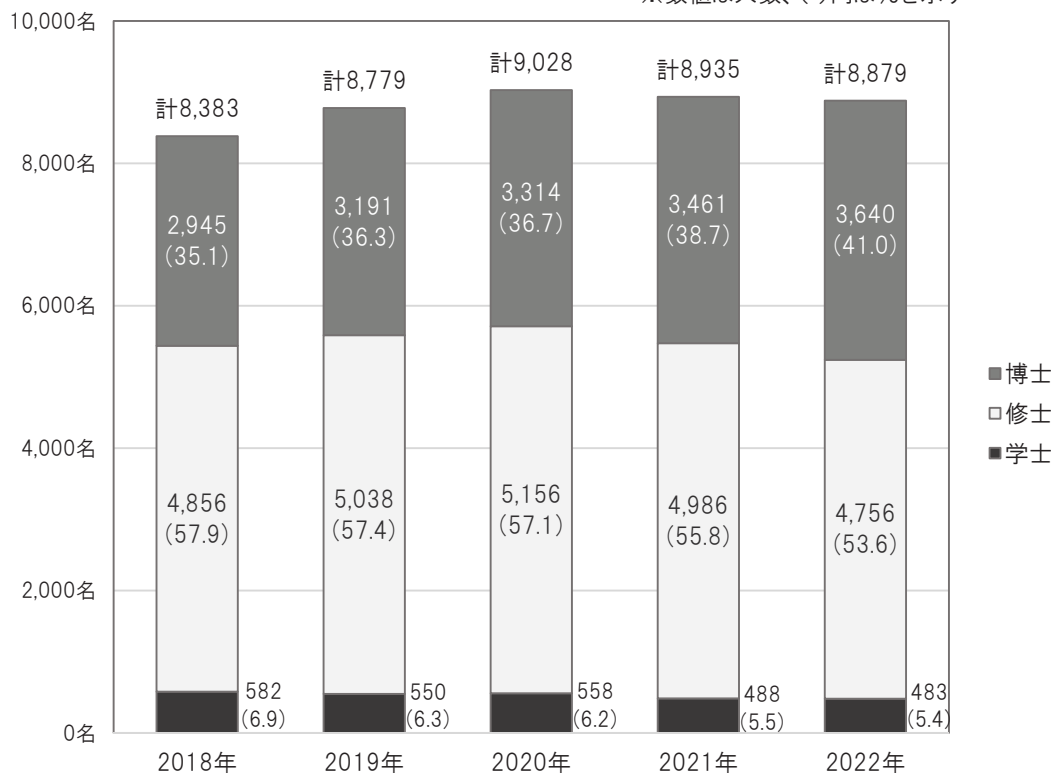
(日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会との協働実施)

2024年 6月

4. 学位修得状況

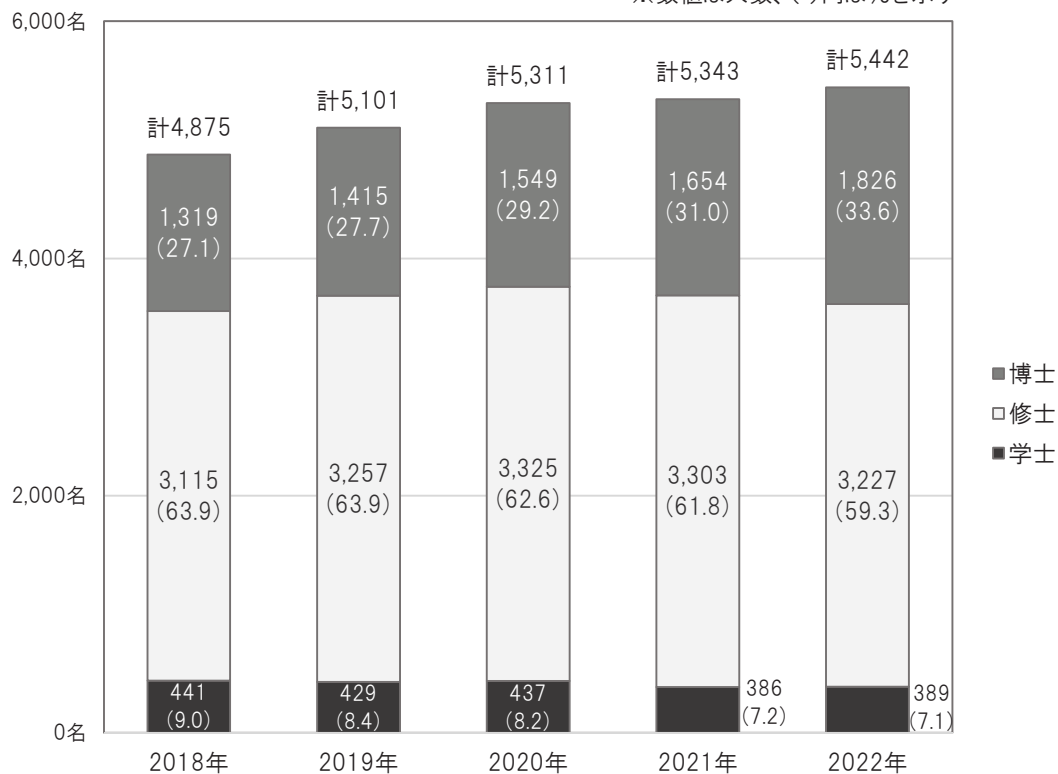
4-1-1. 看護学部・学科教員の学位修得状況〔全体〕

※数値は人数、()内は%を示す



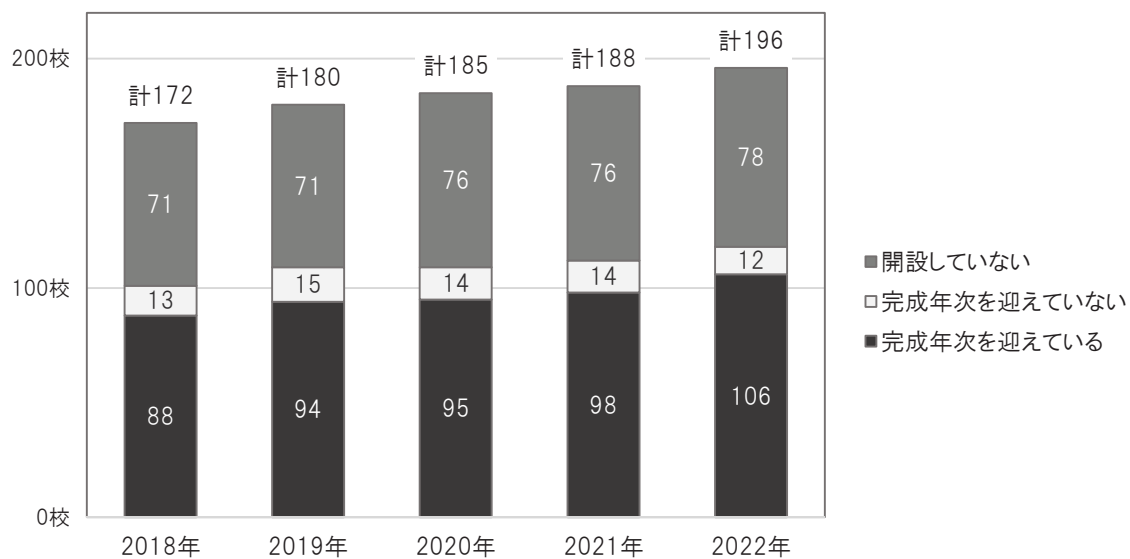
4-1-2. 看護学部・学科教員の学位修得状況〔看護学の学位のみ〕

※数値は人数、()内は%を示す

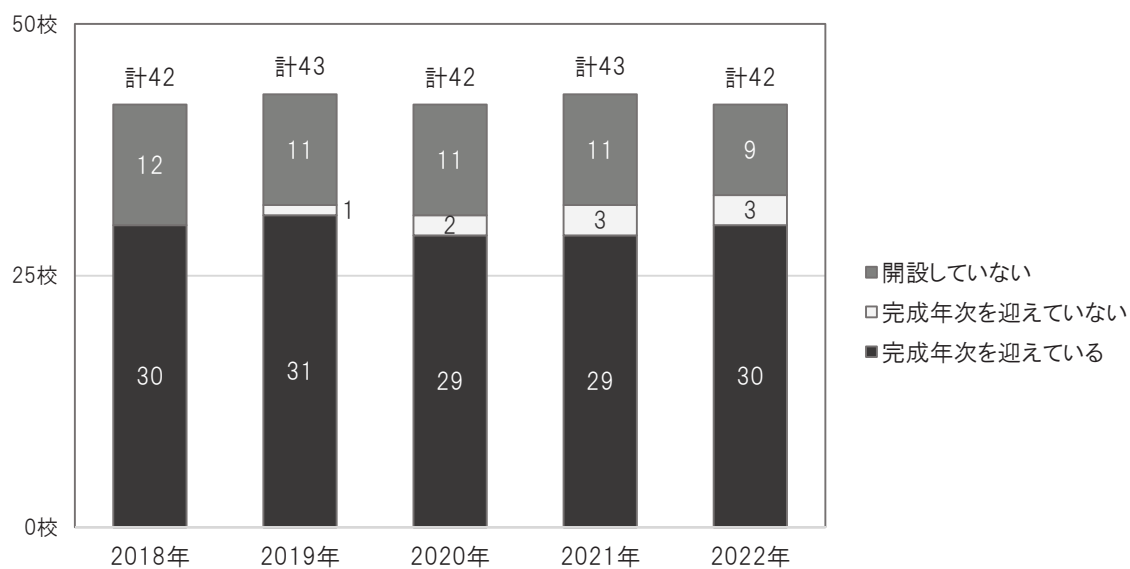


7. 看護系大学院 博士後期課程の状況

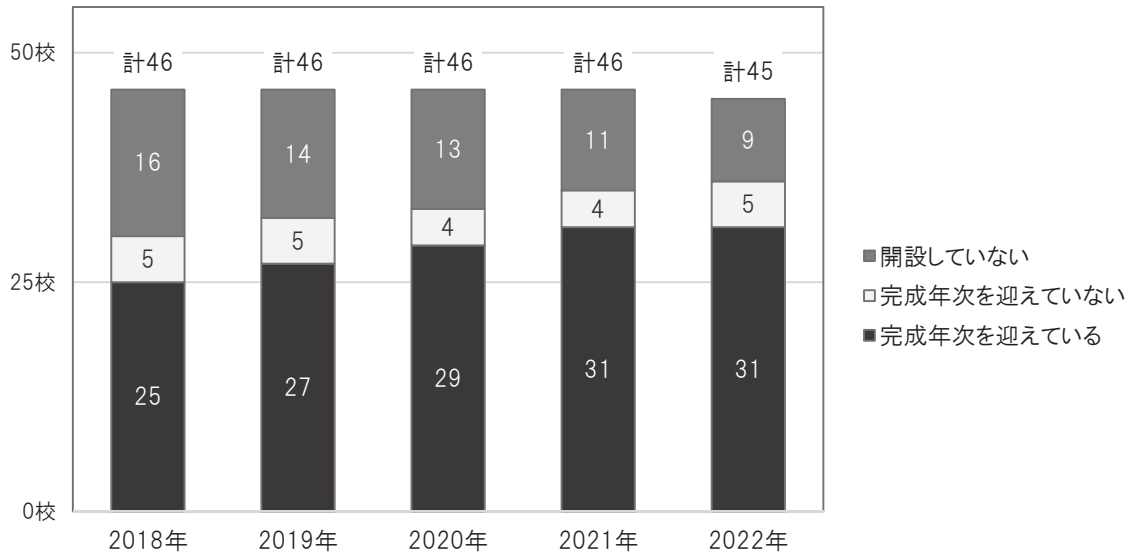
7-1-1. 看護系大学院の博士後期課程数〔全体〕



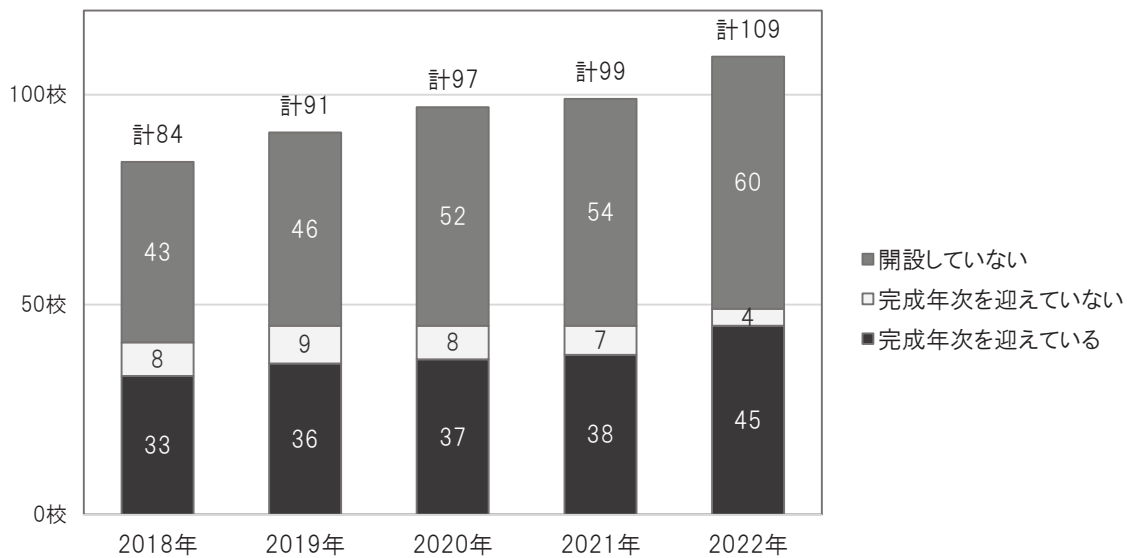
7-1-2. 看護系大学院の博士後期課程数〔国立〕



7-1-3. 看護系大学院の博士後期課程数〔公立〕

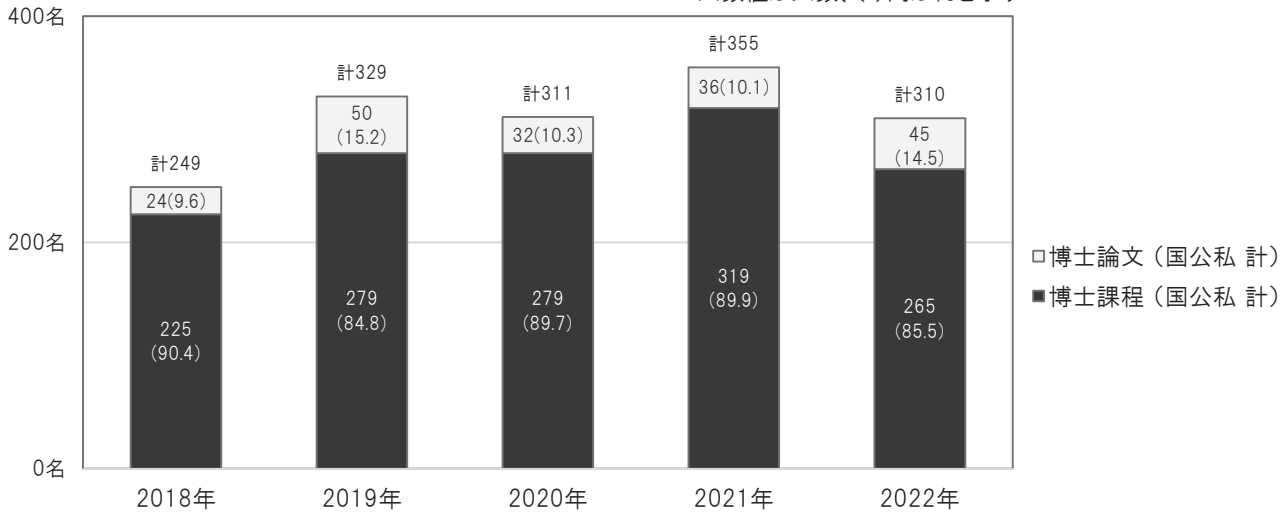


7-1-4. 看護系大学院の博士後期課程数〔私立〕



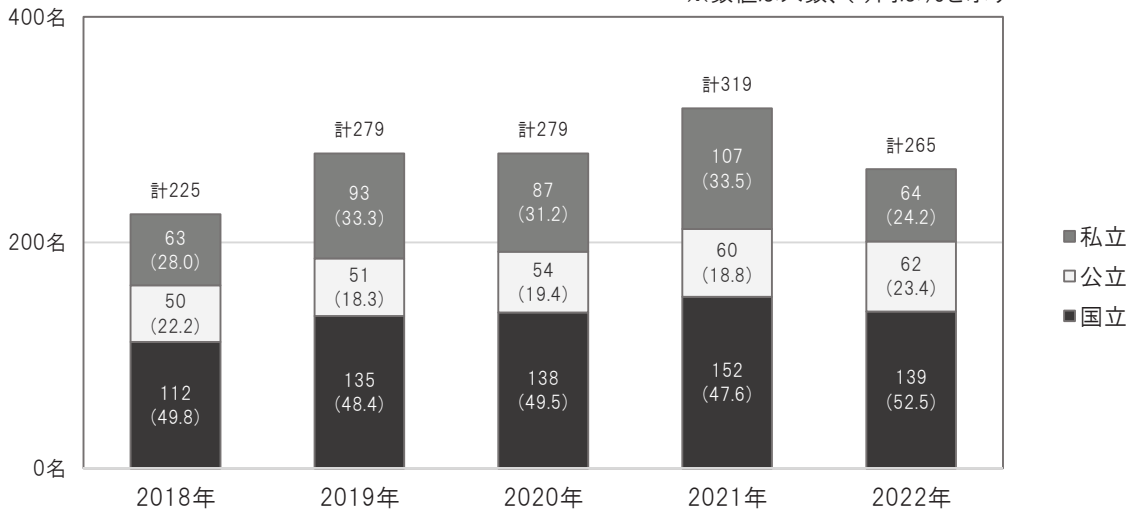
7-5-1. 看護系大学院の博士後期課程修了者数〔全体〕

※数値は人数、()内は%を示す



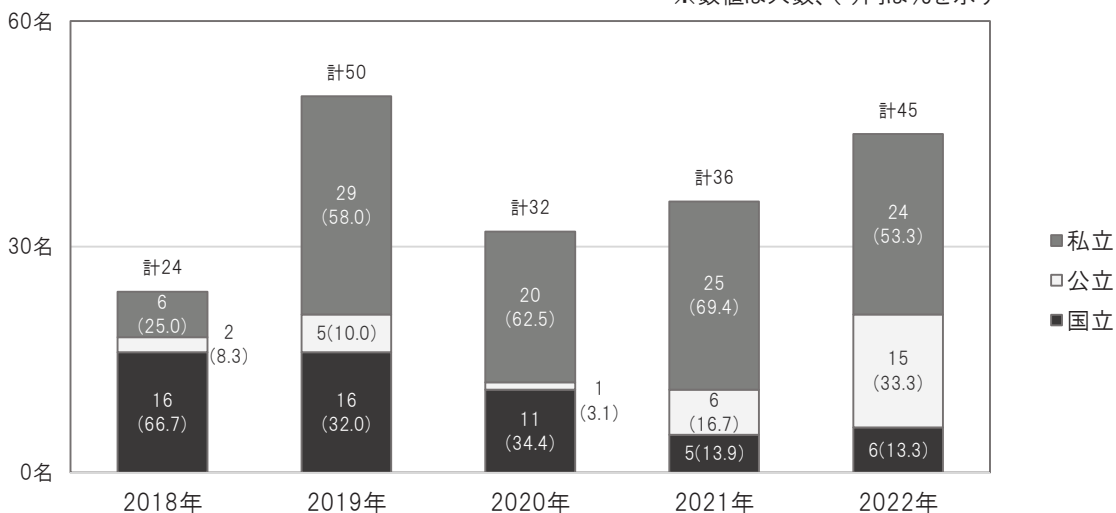
7-5-2. 看護系大学院の博士後期課程修了者数〔課程博士〕

※数値は人数、()内は%を示す



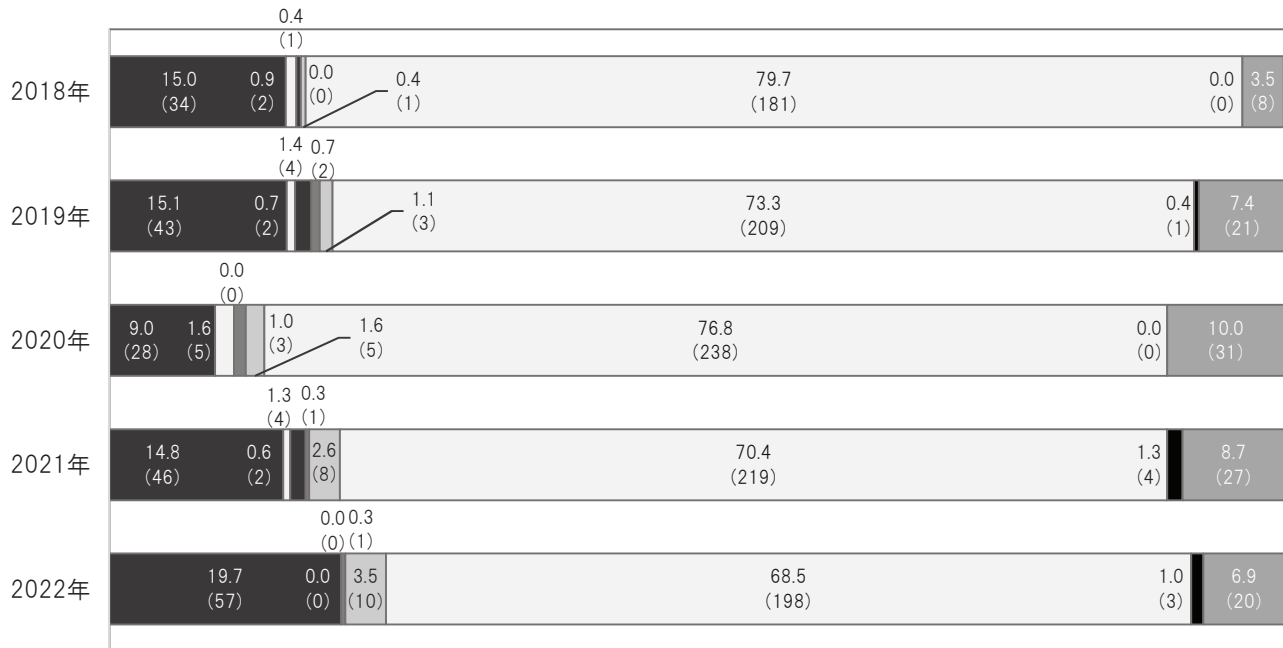
7-5-3. 看護系大学院の博士後期課程修了者数〔論文博士〕

※数値は人数、()内は%を示す



9-2-3. 修了生の病院・診療所への就職率〔博士後期課程修了〕

全体 ※ 数値は%、()内は人数を示す



- 病院・診療所
- 訪問看護ステーション
- 企業
- 進学
- 介護・福祉施設関係
- 保健所・市町村・検診センター
- 教育職・その他
- その他

	総回答数	病院・診療所	介護・福祉施設関係	訪問看護ステーション	保健所・市町村・検診センター	企業	教育職・その他	進学	その他
上段: 件数 下段: 構成比									
2018年	227	34 15.0	2 0.9	1 0.4	0 0.0	1 0.4	181 79.7	0 0.0	8 3.5
2019年	285	43 15.1	2 0.7	4 1.4	2 0.7	3 1.1	209 73.3	1 0.4	21 7.4
2020年	310	28 9.0	5 1.6	0 0.0	3 1.0	5 1.6	238 76.8	0 0.0	31 10.0
2021年	311	46 14.8	2 0.6	4 1.3	1 0.3	8 2.6	219 70.4	4 1.3	27 8.7
2022年	289	57 19.7	0 0.0	0 0.0	1 0.3	10 3.5	198 68.5	3 1.0	20 6.9